



始



天文年表

昭和十九年版

田上天文台編

1917
528

昭和十九年版

天文年表

田上天文台編



恒星社版

967
328

R440.38
TA 17

天文年表

“學曆 1944 年”

世界の決戦期である此の“1944年”は吾人の全力を戦争に向けるための天意であるか？ 天文界は比較的平凡・低調な歳である。年初の數週間を除けば、火星は速く去つて、観察者を退屈せしめ、金星も亦、賑はしかつた昨年引きかへ、今年中頃に遠合となり、太陽の光芒中にかくれる時期が多く、只、年初の曉天と、年末の宵天とに、瞥見し得るのみ。一帯に、地球からは遠く、光度は小さく、望遠鏡裡の表面像も引き立たない。

木星、土星、水星などは、それぞれ觀望の適當な時期を有つてゐるが、これ等は、毎年ほど同じ程度の觀測が可能なので、特に今年が好いとか悪いとか、言ふ筋合のものではない。その時期には、勿論、大いに研究觀察を勵むべきである。すべて、天體觀察は、勵みさへすれば、それに應じて、必ず豫期の收穫のほか、豫期以外の新發見にも恵まれるものである。——土星の輪は、その擴がりの極大期を過ぎた、しかし、尙、今でも、其れは土星の視直徑以上であるから、壯觀でもあり、問題もある。

彗星界に於いては、エンケ、テンペル・スキフト、コマス・ソラの三つの短週期星が今年内にそれぞれ近日點へ歸つて來る。中にも、エンケは其の第42回の出現であるが、こんどは去る1934年の時と同様、太陽の向ひ側にあつて、地球からの距離が始終遠いため、光は淡く、只、専門家のみの觀測對象たるに過ぎないだらう。

今年月蝕は無いが、日蝕が2回ある。1月25日のは皆既蝕で、南米ブラジル邊で見えるのだが、戦時下、どの國からも觀測遠征者はあるまい。7月20日のは金環蝕で、再生ビルマ國に於いて其の最も美しい姿を現出するだらう。

7月5日に、日没後の西天に於いて、火星と木星との珍らしい接近が起る。火星の光度が淡いので肉眼で見る感じは物足りないだらうが、望遠鏡裡に於いては、木星に赤褐色の一大衛星が生れたかの如き奇觀を呈するだらう。

1944年の諸曆通りいろいろ

干支……甲申
 エバクト……5

金宇通……7
 聖日符號……BA

太陽週期……21
 ロマの律會……12



967
328

『昭和19年』=學曆1944年

神武天皇即位紀元2604年……甲申、閏年、日數總計366日

明治77年	現行される種々の曆年の始まりの日	大正33年
滿洲國康徳11年=中華民國33年=蒙疆成吉思汗739年=1月1日, ユリウス曆1944年=1月11日, 泰曆2487年4月1日, 猶太曆5205年=9月18日, 回教曆1364年=12月17日		

凡 例

1月1日は土曜、己未。ユリウス通日3431091.0日。年初の平均黄道傾斜角23°26'47.468

祝 祭 記 念 日

四方拜	1月1日	神武天皇祭	4月3日	秋季皇靈祭	9月23日
元始祭	1月3日	渡佛會	4月8日	仲秋の名月	10月2日
宮中新年會	1月5日	上巳節	4月9日	重陽節	10月25日
正月朝	1月26日	天長節	4月29日	神嘗祭	10月17日
紀元節	2月11日	端午節	5月26日	明治節	11月3日
地久節	3月6日	海軍記念日	5月27日	新嘗祭	11月23日
陸軍記念日	3月10日	時の記念日	6月10日	大詔奉戴日	12月8日
春季皇靈祭	3月21日	七夕祭	8月25日	大正天皇祭	12月25日
イースタ	3月26日	于良盆會	9月2日	クリスマス	12月25日

季 節

太陽の黄經	節	日	時	12宮	太陽の黄經	節	日	時	12宮
285°	小寒	1月6日		摩羯宮	105°	小暑	7月8日		巨蟹宮
300	大寒	1月21日		寶瓶宮	120	大暑	7月23日		獅子宮
315	立春	2月5日			135	立秋	8月8日		
330	雨水	2月20日		双鱼宮	150	處暑	8月23日		處女宮
345	啓蟄	3月6日			165	白露	9月8日		
0	春分	3月21日		白羊宮	180	秋分	9月23日		天秤宮
15	清明	4月5日			195	寒露	10月9日		
30	穀雨	4月20日		金牛宮	210	霜降	10月24日		天蠍宮
45	立夏	5月6日			225	立冬	11月7日		
60	小滿	5月21日		双女宮	240	小雪	11月22日		人馬宮
75	芒種	6月6日			255	大雪	12月7日		
90	夏至	6月21日		巨蟹宮	270	冬至	12月22日		摩羯宮

土用：(冬)1月18日, 春4月17日, (夏)7月20日, (秋)10月21日.

彼岸：(春)3月18日, (秋)9月20日 | 社日：(春)3月25日, (秋)9月21日.

雜節：[節分]2月4日, [八十八夜]5月2日, 入梅6月11日, [二百十日]9月1日.

日 曜

1月 2, 9, 16, 23, 30,	7月 2, 9, 16, 23, 30,
2月 6, 13, 20, 27,	8月 6, 13, 20, 27,
3月 5, 12, 19, 26,	9月 3, 10, 17, 24,
4月 2, 9, 16, 23, 30,	10月 1, 8, 15, 22, 29,
5月 7, 14, 21, 28,	11月 5, 12, 19, 26,
6月 4, 11, 18, 25,	12月 3, 10, 17, 24, 31,

1944年

月 の 諸 相

	新 月	上 弦	滿 月	下 弦
1月	26日 0時24分	3日 5時 4分	10日 19時 9分	19日 0時32分
2月	24日 10時59分	1日 16時 8分	9日 14時29分	17日 16時42分
3月	24日 20時36分	{ 2日 5時40分 31日 21時34分	10日 9時28分	18日 5時 5分
4月	23日 5時43分	30日 15時 6分	9日 2時22分	16日 13時59分
5月	22日 15時12分	30日 9時 6分	8日 16時28分	15日 20時12分
6月	21日 2時 0分	29日 2時27分	7日 3時58分	14日 0時56分
7月	20日 14時42分	28日 18時24分	6日 13時27分	13日 5時39分
8月	19日 5時25分	27日 8時39分	4日 21時39分	11日 11時52分
9月	17日 21時37分	25日 21時 7分	3日 5時21分	9日 21時 3分
10月	17日 14時35分	25日 7時48分	{ 2日 13時22分 31日 22時35分	9日 10時12分
11月	16日 7時29分	23日 16時53分	30日 9時52分	7日 23時57分
12月	15日 23時35分	23日 0時54分	29日 23時38分	7日 23時57分

新 月	舊 曆	山本月相	新 月	舊 曆	山本月相
1月26日は	正月朝	第60261期始	7月20日は	六月朔	第60267期始
2月24日は	二月朝	第60262期始	8月19日は	七月朔	第60268期始
3月24日は	三月朝	第60263期始	9月17日は	八月朔	第60269期始
4月23日は	四月朝	第60264期始	10月17日は	九月朔	第60270期始
5月22日は	五月朝	第60265期始	11月16日は	十月朔	第60271期始
6月21日は	閏五月朝	第60266期始	12月15日は	十一月朔	第60272期始

1944年の太陽の出没 (田上)*

月	日	日 出	日 没	月	日	日 出	日 没	月	日	日 出	日 没
1	1	7時 4分	16時 55分	5	1	5時 6分	18時 41分	9	1	5時 28分	18時 24分
	16	7 3	17 8		16	4 52	18 53		16	5 39	18 3
2	1	6 56	17 23	6	1	4 43	19 5	23	1	5 44	17 53
	15	6 53	17 38		16	4 41	19 12	10	1	5 50	17 41
3	1	6 26	17 52		21	4 42	19 14		16	6 2	17 21
	16	6 6	18 4		7	1 4 45	19 14	11	1	6 16	17 3
	21	5 59	18 9		16	4 53	19 10	12	1	6 45	16 46
4	1	5 44	18 17	8	1	5 4	19 0		16	6 56	16 47
	16	5 23	18 29		16	5 16	18 44	22	7	0	16 49

* 標準経緯度：東經136°，北緯35°

1944年の太陽の運行表

月日 (毎日9時)	赤緯			観直径	地球よりの距離	グリニチ		
	h	m	s			時	分	秒
1 1 10 ⁰⁰	18 41 08	-23 06.5	32 35.1	0.9833 (14717)	6 38 08			
1 1 11 10 ⁰⁰	19 25 02	-22 00.4	32 34.7	0.9834 (14719)	7 17 33			
1 1 21 10 ⁰⁰	20 08 00	-20 11.5	32 33.5	0.9840 (14727)	7 56 59			
2 1 1 11 10 ⁰⁰	20 53 52	-17 28.3	32 30.9	0.9853 (14747)	8 40 21			
2 1 11 10 ⁰⁰	21 34 07	-14 27.2	32 27.6	0.9869 (14771)	9 19 47			
2 1 21 10 ⁰⁰	22 13 06	-11 02.3	32 23.7	0.9889 (14801)	9 59 12			
3 1 1 9 10 ⁰⁰	22 47 14	- 7 42.6	32 19.6	0.9910 (14832)	10 34 41			
3 1 11 10 ⁰⁰	23 24 21	- 3 50.6	32 14.5	0.9936 (14871)	11 14 07			
3 1 21 10 ⁰⁰	0 00 56	+ 0 06.1	32 09.3	0.9963 (14912)	11 53 32			
4 1 1 11 10 ⁰⁰	0 40 59	+ 4 24.6	32 03.1	0.9995 (14960)	12 36 54			
4 1 11 10 ⁰⁰	1 17 32	+ 8 11.4	31 57.6	1.0024 (15003)	13 16 20			
4 1 21 10 ⁰⁰	1 54 33	+11 44.5	31 52.4	1.0052 (15045)	13 55 45			
5 1 1 10 10 ⁰⁰	2 32 17	+23 08.3	31 47.3	1.0078 (15084)	12 35 11			
5 1 11 10 ⁰⁰	3 10 54	+22 09.6	31 42.8	1.0102 (15120)	13 14 36			
5 1 21 10 ⁰⁰	3 50 28	+20 32.9	31 38.9	1.0123 (15151)	13 54 02			
6 1 1 11 10 ⁰⁰	4 35 00	+14 58.3	31 35.3	1.0142 (15179)	16 37 24			
6 1 11 10 ⁰⁰	5 16 11	+17 47.4	31 32.9	1.0155 (15199)	17 16 50			
6 1 21 10 ⁰⁰	5 57 44	+20 06.8	31 31.5	1.0163 (15211)	17 56 15			
7 1 1 10 10 ⁰⁰	6 39 16	+22 00.5	31 30.7	1.0168 (15218)	18 35 41			
7 1 11 10 ⁰⁰	7 20 21	+23 03.8	31 30.9	1.0166 (15215)	19 15 06			
7 1 21 10 ⁰⁰	8 00 46	+23 26.7	31 32.1	1.0160 (15206)	19 54 32			
8 1 1 11 10 ⁰⁰	8 44 08	+18 06.9	31 34.2	1.0149 (15189)	20 37 54			
8 1 11 10 ⁰⁰	9 22 29	+15 23.0	31 37.1	1.0134 (15167)	21 17 20			
8 1 21 10 ⁰⁰	5 59 56	+12 14.4	31 40.7	1.0115 (15139)	21 56 45			
9 1 1 11 10 ⁰⁰	10 40 13	+ 8 24.9	31 45.3	1.0090 (15101)	22 40 07			
9 1 11 10 ⁰⁰	11 16 18	+ 4 41.9	31 50.2	1.0065 (15064)	23 19 33			
9 1 21 10 ⁰⁰	11 52 13	+ 0 50.7	31 55.4	1.0037 (15022)	23 58 58			
10 1 1 10 10 ⁰⁰	12 28 14	- 3 03.0	32 00.7	1.0009 (14969)	0 38 24			
10 1 11 10 ⁰⁰	13 04 43	- 6 53.4	32 06.4	0.9980 (14937)	1 17 49			
10 1 21 10 ⁰⁰	13 42 00	-10 34.6	32 11.8	0.9952 (14896)	1 57 15			
11 1 1 11 10 ⁰⁰	14 24 17	-14 19.4	32 17.5	0.9923 (14852)	2 40 37			
11 1 11 10 ⁰⁰	15 04 05	-17 19.9	32 22.3	0.9898 (14815)	3 20 03			
11 1 21 10 ⁰⁰	15 45 18	-19 50.7	32 26.5	0.9877 (14783)	3 29 28			
12 1 1 10 10 ⁰⁰	16 27 49	-21 45.3	32 29.9	0.9859 (14757)	4 38 54			
12 1 11 10 ⁰⁰	17 11 26	-22 58.5	32 32.6	0.9845 (14736)	5 18 19			
12 1 21 10 ⁰⁰	17 55 42	-23 26.5	32 34.3	0.9837 (14724)	5 57 45			
翌1 1 11 10 ⁰⁰	18 44 28	-23 03.1	32 35.0	0.9833 (14719)	6 41 07			

注意：赤緯赤経は観位置を示す

太陽の直角座標

毎日9時	X	Y	Z	ユリウス日
昨1943年12月23日	- 0.0111	- 0.9024	- 0.3914	2431080.5
30	+ 1284	8944	3879	088.5
1944年 1 7	2654	8686	3767	096.5
5	3971	8256	3580	104.5
23	5209	7662	3323	112.5
31	+ 0.6344	- 0.6915	- 0.2999	2431120.5
2 8	7353	6032	2616	128.5
16	8218	5030	2181	136.5
24	8921	3929	1704	144.5
3 3	9450	2752	1194	152.5
11	+ 0.9796	- 0.1521	- 0.0600	2431160.5
19	9954	0261	0113	168.5
27	9920	+ 1004	+ 0435	176.5
4 4	9698	2250	0976	184.5
12	9293	3454	1498	192.5
20	+ 0.8714	+ 0.4592	+ 0.1992	2431200.5
28	7971	5645	2448	208.5
5 6	7082	6594	2860	216.5
14	6062	7421	3218	224.5
22	4931	8113	3518	232.5
30	+ 0.3710	+ 0.8657	+ 0.3754	2431240.5
6 7	2422	9043	3922	248.5
15	1090	9266	4019	256.5
23	- 0262	9322	4043	264.5
7 1	1609	9210	3994	272.5
9	- 0.2927	+ 0.8932	+ 0.3874	2431280.5
17	4192	8494	3684	288.5
25	5382	7903	3427	296.5
8 2	6475	7169	3109	304.5
10	7450	6305	2734	312.5
18	- 0.8290	+ 0.5326	+ 0.2310	2431320.5
26	8979	4251	1844	328.5
9 3	9504	3098	1343	336.5
11	9853	1887	0818	344.5
19	1.0019	0642	0278	352.5
27	- 0.9998	- 0.0615	- 0.0267	2431360.5
10 5	9790	1861	0807	368.5
13	9396	3072	1332	376.5
21	8824	4224	1832	384.5
29	8082	5295	2296	392.5
11 6	- 0.7184	- 0.6263	- 0.2716	2431400.5
14	6147	7110	3084	408.5
22	4989	7818	3391	416.5
30	3734	8373	3631	424.5
12 8	2405	8963	3800	432.5
16	- 0.1028	- 0.8979	- 0.3894	2431440.5
24	+ 0368	9017	3910	448.5
翌 1945 1 1	1758	8876	3849	456.5
9	3113	8558	3711	464.5
17	4406	8070	3500	472.5
25	+ 0.5611	- 0.7422	- 0.3219	2431480.5

注意：分點は 1950.0

1944年 月の出沒 (田上)*

日附	1月		2月		3月		日附
	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	
1	10 59 (5.0)	22 39	11 22 (上弦)	—	10 36 (6.0)	—	1
2	11 36 (6.0)	23 44	11 59 (7.5)	0 45	11 18 (上弦)	0 38	2
3	12 11 (上弦)	—	12 38 (8.5)	1 46	12 03 (8.0)	1 35	3
4	12 45 (8.0)	0 48	13 21 (9.5)	2 45	12 51 (9.0)	2 29	4
5	13 20 (9.0)	1 51	14 06 (10.5)	3 40	13 41 (10.0)	3 19	5
6	13 58 (10.0)	2 52	14 54 (11.5)	4 33	14 34 (11.0)	4 04	6
7	14 37 (11.0)	3 52	15 46 (12.5)	5 21	15 27 (12.0)	4 46	7
8	15 22 (12.0)	4 49	16 39 (13.5)	6 05	16 21 (13.0)	5 23	8
9	16 09 (13.0)	5 45	17 32 (満月)	6 46	17 16 (14.0)	6 57	9
10	16 59 (満月)	6 37	18 27 (15.5)	7 22	18 11 (満月)	6 28	10
11	17 51 (15.0)	7 24	19 22 (16.5)	7 55	19 06 (16.0)	6 58	11
12	18 44 (16.0)	8 07	20 16 (17.5)	8 26	20 02 (17.0)	7 28	12
13	19 39 (17.0)	8 46	21 11 (18.5)	8 56	20 58 (18.0)	7 58	13
14	20 33 (18.0)	9 21	22 07 (19.5)	9 25	21 55 (19.0)	8 29	14
15	21 28 (19.0)	9 53	23 03 (20.5)	9 56	22 54 (20.0)	9 03	15
16	22 23 (20.0)	10 24	— (21.5)	10 28	23 54 (21.0)	9 41	16
17	23 18 (21.0)	10 54	0 02 (下弦)	11 03	— (22.0)	10 25	17
18	— (22.0)	11 24	1 02 (23.5)	11 43	0 54 (下弦)	11 14	18
19	0 14 (下弦)	11 55	2 02 (24.5)	12 31	1 53 (24.0)	12 10	19
20	1 13 (24.0)	12 29	3 04 (25.5)	13 24	2 49 (25.0)	13 12	20
21	2 14 (25.0)	13 08	4 05 (26.5)	14 25	3 42 (26.0)	14 19	21
22	3 17 (26.0)	13 53	5 02 (27.5)	15 33	4 31 (27.0)	15 29	22
23	4 20 (27.0)	14 44	5 55 (28.5)	16 43	5 15 (28.0)	16 41	23
24	5 24 (28.0)	15 44	6 43 (新月)	17 56	5 55 (新月)	17 52	24
25	6 24 (29.0)	16 50	7 25 (1.0)	19 08	6 34 (0.6)	19 03	25
26	7 20 (新月)	17 59	8 05 (7.0)	20 18	7 11 (1.6)	20 12	26
27	8 10 (1.5)	19 11	8 42 (3.0)	21 27	7 49 (2.6)	21 19	27
28	8 54 (2.5)	20 22	9 19 (4.0)	22 33	8 29 (3.6)	22 24	28
29	9 34 (3.5)	21 31	9 56 (5.0)	23 37	9 11 (4.6)	23 24	29
30	10 11 (4.5)	22 38	—	—	9 56 (5.6)	—	30
31	10 46 (5.5)	23 43	—	—	10 44 (上弦)	0 22	31

*標準経緯度：東経136°，北緯36°

1944年 月の出沒 (田上)

日附	4月		5月		6月		日附
	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	
1	11 35 (7.6)	1 14	12 06 (8.3)	1 23	13 36 (9.9)	1 33	1
2	12 28 (8.6)	2 02	13 01 (9.3)	1 59	14 31 (10.9)	2 02	2
3	13 20 (9.6)	2 45	13 56 (10.3)	2 32	15 29 (11.9)	3 32	3
4	14 15 (10.6)	3 24	14 51 (11.3)	3 03	16 28 (12.9)	3 03	4
5	15 10 (11.6)	3 58	15 46 (12.3)	3 32	17 29 (13.9)	3 37	5
6	16 05 (12.6)	4 30	16 43 (13.3)	4 02	18 30 (14.9)	4 15	6
7	17 00 (13.6)	5 01	17 41 (14.3)	4 32	19 33 (満月)	5 00	7
8	17 55 (14.6)	5 30	18 41 (満月)	5 04	20 34 (16.9)	5 50	8
9	18 52 (満月)	6 00	19 42 (16.3)	4 40	21 31 (17.9)	6 47	9
0	19 50 (16.6)	6 31	20 42 (17.3)	6 20	22 22 (18.9)	7 49	10
11	20 49 (17.6)	7 04	21 43 (18.3)	7 06	23 10 (19.9)	8 54	11
12	21 49 (18.6)	7 41	22 41 (19.3)	7 58	23 51 (20.9)	10 02	12
13	22 49 (19.6)	8 23	23 35 (20.3)	8 55	— (21.9)	11 09	13
14	23 48 (20.6)	9 10	— (21.3)	9 58	0 28 (下弦)	12 16	14
15	— (21.6)	10 03	0 24 (下弦)	11 02	1 04 (23.9)	13 22	15
16	0 44 (下弦)	11 02	1 09 (23.3)	12 10	1 38 (24.9)	14 28	16
17	1 37 (23.6)	12 05	1 49 (24.3)	13 17	2 14 (25.9)	15 33	17
18	2 25 (24.6)	13 12	2 26 (25.3)	14 25	2 51 (26.9)	16 37	18
19	3 09 (25.6)	14 21	3 02 (26.3)	15 32	3 31 (27.9)	17 40	19
20	3 49 (26.6)	15 30	3 37 (27.3)	16 39	4 15 (28.9)	18 40	20
21	4 27 (27.6)	16 40	4 14 (28.3)	17 45	5 03 (新月)	19 37	21
22	5 04 (28.6)	17 49	4 53 (新月)	18 51	5 55 (1.4)	20 28	22
23	5 41 (新月)	18 57	2 36 (0.9)	19 53	6 49 (2.4)	21 14	23
24	6 20 (1.3)	20 04	6 23 (1.9)	20 53	7 45 (3.4)	21 56	24
25	7 01 (2.3)	21 09	7 13 (2.9)	21 47	8 40 (4.4)	22 32	25
26	7 46 (3.3)	22 09	8 06 (3.9)	22 36	9 36 (5.4)	23 04	26
27	8 34 (4.3)	23 05	9 01 (4.9)	23 19	10 31 (6.4)	23 34	27
28	9 25 (5.3)	23 56	9 55 (5.9)	23 58	11 25 (7.4)	—	28
29	10 18 (6.3)	—	10 51 (6.9)	—	12 20 (上弦)	0 03	29
30	11 14 (上弦)	0 42	11 46 (上弦)	0 32	13 16 (9.4)	0 32	30
31	—	—	12 41 (8.9)	1 04	—	—	31

注意：東京は上表より15分早く，大阪は2分遅れる

1944年 月の出沒 (田上)

日附	7月		8月		9月		日附
	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	
1	14 13 (10.4)	1 02	16 00 (11.9)	1 27	17 30 (13.3)	3 05	1
2	15 13 (11.4)	1 34	17 02 (12.9)	2 17	18 15 (14.3)	4 14	2
3	16 14 (12.4)	2 10	18 00 (13.9)	3 15	18 57 (満月)	5 27	3
4	17 16 (13.4)	2 50	18 53 (満月)	4 20	19 36 (16.3)	6 40	4
5	18 19 (14.4)	3 38	19 42 (15.9)	5 29	20 13 (17.3)	7 52	5
6	19 19 (満月)	4 33	20 25 (16.9)	6 40	20 50 (18.3)	9 02	6
7	20 15 (16.4)	5 34	21 04 (17.9)	7 52	21 28 (19.3)	10 10	7
8	21 06 (17.4)	6 41	21 41 (18.9)	9 02	22 09 (20.3)	11 17	8
9	21 50 (18.4)	7 49	22 17 (19.9)	10 11	22 54 (下弦)	12 29	9
10	22 27 (19.4)	8 59	22 53 (20.9)	11 17	23 41 (22.3)	13 20	10
11	23 06 (20.4)	10 08	23 31 (下弦)	12 23	— (23.3)	14 15	11
12	23 41 (21.4)	11 15	— (22.9)	13 26	0 32 (24.3)	15 06	12
13	— (下弦)	12 21	0 11 (23.9)	14 27	1 25 (25.3)	15 50	13
14	0 16 (23.4)	13 26	0 56 (24.9)	15 25	2 20 (26.3)	16 31	14
15	0 52 (24.4)	14 30	1 44 (25.9)	16 18	3 14 (27.3)	17 07	15
16	1 30 (25.4)	15 32	2 35 (26.9)	17 07	4 10 (28.3)	17 39	16
17	2 13 (26.4)	16 32	2 29 (27.9)	17 51	5 00 (新月)	18 09	17
18	2 58 (27.4)	17 29	4 25 (28.9)	18 30	5 59 (0.6)	18 38	18
19	3 48 (28.4)	18 22	5 20 (新月)	19 05	6 54 (1.6)	19 06	19
20	4 41 (新月)	19 10	6 15 (1.3)	19 37	7 48 (2.6)	19 35	20
21	5 36 (0.9)	19 52	7 10 (2.3)	20 07	8 44 (3.6)	20 06	21
22	6 31 (1.9)	20 31	8 04 (3.3)	20 35	9 40 (4.6)	20 39	22
23	7 26 (2.9)	21 04	8 59 (4.3)	21 04	10 38 (5.6)	21 16	23
24	8 22 (3.9)	21 35	9 54 (5.3)	21 33	11 36 (6.6)	21 59	24
25	9 17 (4.9)	22 05	10 49 (6.3)	22 04	12 34 (上弦)	22 47	25
26	10 11 (5.9)	22 33	11 47 (7.3)	22 39	13 32 (8.6)	23 42	26
27	11 06 (6.4)	23 02	12 46 (上弦)	23 19	14 27 (9.6)	—	27
28	12 01 (上弦)	23 42	13 45 (9.3)	—	15 17 (10.6)	0 44	28
29	12 59 (8.9)	—	14 45 (10.3)	0 05	16 05 (11.6)	1 50	29
30	13 58 (9.9)	0 05	15 43 (11.3)	0 58	16 47 (12.6)	3 01	30
31	14 58 (10.9)	0 43	16 38 (12.3)	1 58			31

注意：岡山は上表より5分遅れ、廣島は10分遅れる

1944年 月の出沒 (田上)*

日附	10月		11月		12月		日附
	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	月出 (月齢)	月没	
1	17 27 (13.6)	4 13	17 51 (14.9)	6 34	17 58 (15.2)	7 35	1
2	18 05 (満月)	5 25	18 34 (15.9)	7 44	18 52 (16.2)	7 44	2
3	18 42 (15.6)	6 38	19 22 (16.9)	9 51	19 48 (17.2)	8 37	3
4	19 21 (16.6)	7 49	20 13 (17.9)	9 55	20 46 (18.2)	10 23	4
5	20 02 (17.6)	8 59	21 07 (18.9)	10 53	21 44 (19.2)	11 05	5
6	20 47 (18.6)	10 06	22 03 (19.9)	11 44	22 41 (20.2)	11 43	6
7	21 34 (19.6)	11 09	23 00 (20.9)	12 29	23 36 (下弦)	12 16	7
8	22 25 (20.6)	12 09	23 56 (下弦)	13 09	— (21.2)	12 46	8
9	23 18 (下弦)	13 02	— (22.9)	13 44	0 31 (23.2)	13 14	9
10	— (22.6)	13 49	0 51 (23.9)	14 15	1 26 (24.2)	13 42	10
11	0 13 (23.6)	14 31	1 46 (24.9)	14 44	2 21 (25.2)	14 11	11
12	1 08 (24.6)	15 09	2 41 (25.9)	15 12	3 17 (26.2)	14 41	12
13	2 04 (25.6)	15 42	3 36 (26.9)	15 41	4 15 (27.2)	15 14	13
14	2 59 (26.6)	16 13	4 31 (27.9)	16 10	5 14 (28.2)	15 51	14
15	3 54 (27.6)	16 41	5 28 (28.9)	16 41	6 13 (新月)	16 34	15
16	4 48 (28.6)	17 10	6 28 (新月)	17 15	7 14 (0.5)	17 23	16
17	5 43 (新月)	17 38	7 26 (1.2)	17 55	8 12 (1.5)	18 19	17
18	6 39 (0.9)	18 08	8 24 (2.2)	18 40	9 07 (2.5)	19 20	18
19	7 36 (1.9)	18 40	9 23 (3.2)	19 30	9 57 (3.5)	20 25	19
20	8 33 (2.9)	19 16	10 19 (4.2)	20 27	10 43 (4.5)	21 31	20
21	9 31 (3.9)	19 57	11 13 (5.2)	21 28	11 22 (5.5)	22 38	21
22	10 29 (4.9)	20 43	11 57 (6.2)	22 32	11 58 (6.5)	23 45	22
23	11 27 (5.9)	21 35	12 41 (上弦)	23 39	12 32 (上弦)	—	23
24	12 21 (6.9)	22 33	13 19 (8.2)	—	13 07 (8.5)	0 52	24
25	13 12 (上弦)	23 36	13 56 (9.2)	0 46	13 42 (9.5)	1 58	25
26	13 59 (8.9)	—	14 31 (10.2)	1 54	14 19 (10.5)	3 05	26
27	14 41 (9.9)	0 42	15 06 (11.2)	3 02	15 00 (11.5)	4 12	27
28	15 20 (10.9)	1 51	15 43 (12.2)	4 11	15 47 (12.5)	5 18	28
29	15 58 (11.9)	3 01	16 24 (13.2)	5 21	16 38 (満月)	6 21	29
30	16 34 (12.9)	4 12	17 09 (満月)	6 30	17 33 (14.5)	7 20	30
31	17 12 (満月)	5 23			18 31 (15.5)	8 13	31

*標準経緯度：東経136°，北緯35°

1944年 日蝕と月蝕

1944年のうちには、2回の日蝕があるばかりで、月蝕は全く起らない。日蝕の一つは皆既蝕であり、他は金環蝕である。

日蝕 1月25~26日 この日蝕は、去る1926年1月14日に南洋で見えた有名な皆既蝕と同じサロス列に属するものであるが、今年も南米を中心として起る。蝕の始め終りの時刻は、(日本標準時で)

部分蝕の始まり	1月25日21時48分	東太平洋のカラバゴス島西方で
皆既蝕の始まり	22時45分	メキシコ沖で
正午の皆既は	26日0時29分	南米ブラジル中央部で
皆既蝕の終り	2時08分	佛領アフリカ中央部で
部分蝕の終り	3時04分	西部で

ブラジルでは皆既の時間は4分以上にも上る好条件のものであるから、平常時ならば、世界各国から学者が南米やアフリカに遠征する筈であると思はれるが、今は世界を挙げての大戦争の真最中であるから、殆んど誰も研究観測に出かける人はあるまい。

部分蝕はメキシコから、チリやアルゼンチンに至る中米南米の広い地域と、アフリカ大陸の西半、それに、歐洲の西部を占めるスペイン、ポルトガル、それから米國の南部テキサスあたりでも見えるし、又、大西洋の中部や、太平洋の東部の海上でも見えることになつてゐる。(挿圖を見られよ)しかし、残念なことに、時間的、地理的の關係上、わが日本や、東亞一帯では、全く何も見えない。つまり、日本から言へば、地球の裏側で起る日蝕なのである。

7月20日 上記のものに反して、この盛夏期の日蝕は、わが大南洋の共榮圈全部を含み、尙、アフリカの東半、アジア大陸の南半にわたる廣大な地域、それにインド洋の大部分に於いても、部分蝕が見られることになつて居り、日本では其の日の午後3~5時頃に観察し得る都合であるが、しかし、蝕分は南へ行くほど大きく、例へば臺灣では7割、九州では4割、大阪では2割内外、北海道では1割ばかりの蝕である。

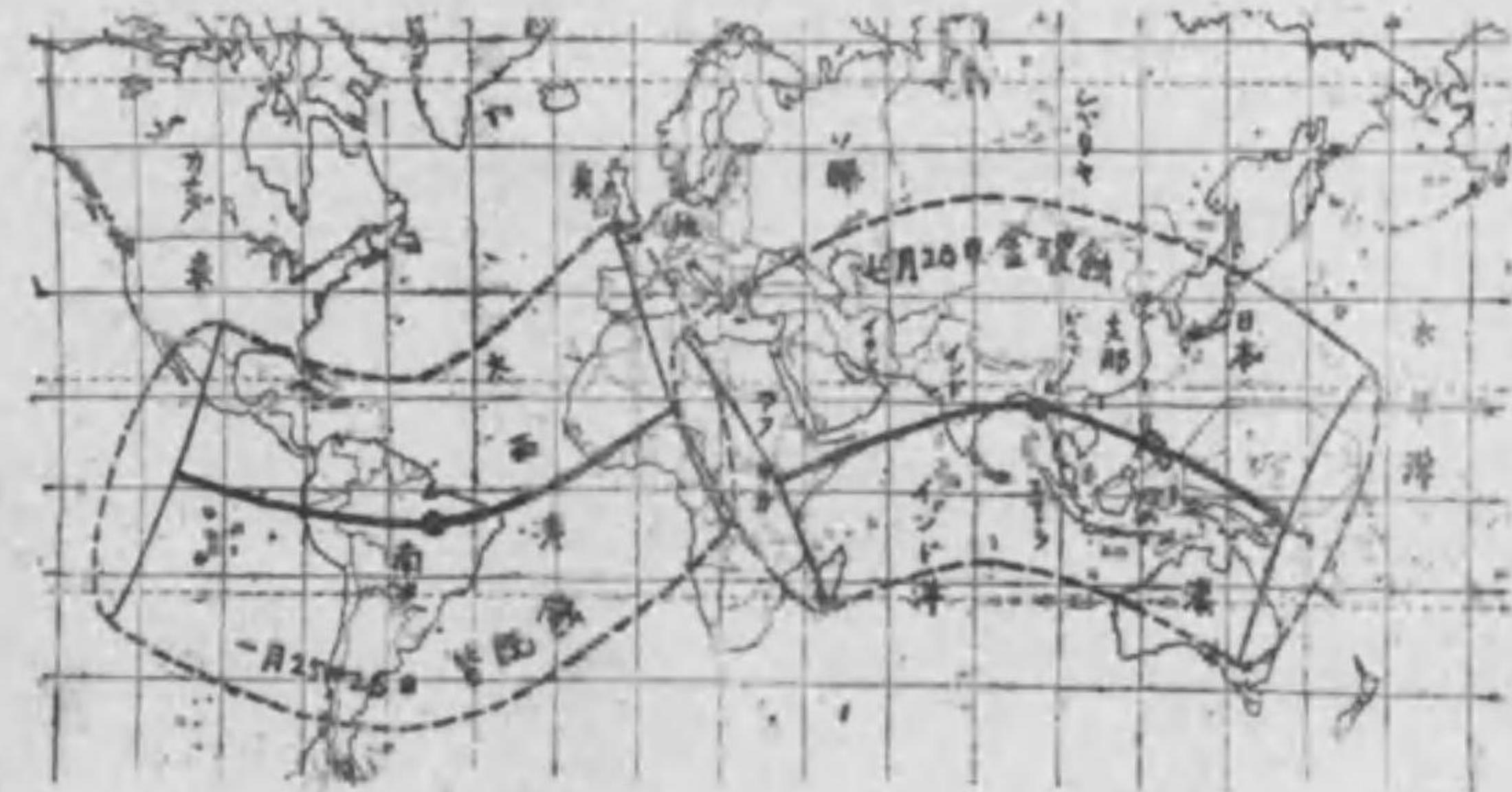
蝕の各相の始めと終りは(日本標準時で)

部分蝕の始め	7月20日11時43分	アフリカの東岸で
中心蝕の始め	12時47分	アフリカの中央部
正午の中心蝕は	14時43分	ビルマ南部
中心蝕の終り	16時38分	西南太平洋ソロモン諸島沖
部分蝕の終り	17時43分	ニューギニア中央部

尤も、此の中心蝕は、皆既相ではなくて、金環相である。故に、中心線上でも、コロナを観ることは殆んど不可能であるが、金環蝕の獨特な美象は十分に楽し

むことが出来る。この金環蝕は、まづアフリカ大陸中のヴィクトリア・ニヤンザ湖の北岸あたりから見え始め、東北東に進行して、ソマリランドを横断し、アラビア海を渡り、ボンベイ市の南からインド半島を超え、一旦ベンガル灣に出で、再び上陸して、新興ビルマの南部にあるプロム市の附近から、少しく南下しつつ、タイ國の北部を通り、佛印のフェ市附近から南支那海に入り、フィリピン諸島の中央部(バナイ、レイテ等の諸島)を経て、日米戦の活舞臺たるニウブリテン、ソロモンあたりの海域へ、夕暮れに到達するのであつて、正に大東亞圈を飾る天空の美象として、各地の各民族たちにも、仰がれるであらう。——中にも、ビルマで見える此の金環蝕は、彼地の恰も正午で、天頂に當り、金環蝕は約4分時間も継続する筈である。

1944年の日蝕帯



次ぎの日蝕と月蝕(日本標準時)

日	蝕	月	蝕
1945年 1月14日14時	金環蝕(濠洲南洋)	6月26日0時	部分蝕*
7月9日22時	皆既蝕(北大西洋)	12月19日11時	皆既蝕
1946年 1月3日21時	部分蝕(南太平洋)	6月15日3時	皆既蝕*
5月31日6時	部分蝕(南太平洋)	12月9日3時	皆既蝕*
6月29日13時	部分蝕(シベリヤ)		
11月24日2時	部分蝕(北米)		
1947年 5月20日22時	皆既蝕(南米北阿)	6月4日4時	部分蝕*
11月13日5時	金環蝕(南米)		
1948年 5月9日11時	金環皆既(支那朝鮮北海道)	4月23日22時	部分蝕*
11月1日15時	皆既蝕(印度洋)		

*日本内地にて見えるもの

大遊星の軌道要素一覧表 (1944年初)

	太陽より 平均距離 (天文単位)	公 轉 年 日	離 心 率	傾 斜 角 ° / ' / "	近日點黃經 ° / ' / "	昇 交 點 ° / ' / "
水 星	0.3871	87.97	0.2056	7 00 14	30 33 11	47 40 03
金 星	0.7233	224.70	0.0068	3 23 39	170 45 18	76 10 32
地 球	1.00 0	365.26	0.0167	—	101 56 35	—
火 星	1.5237	1 331.73	0.0933	1 51 00	334 59 29	49 07 32
セレス*	2.767	4 240.44	0.090	10 36	151 07	80 37
木 星	5.2028	11 314.84	0.0484	1 18 23	13 23 18	99 52 57
土 星	9.5388	29 166.98	0.0557	2 29 26	91 54 42	113 10 04
天王星	19.1910	84 7.45	0.0472	0 46 23	169 43 20	73 42 36
海王星	30.0707	164 280.30	0.0086	1 46 30	44 05 36	131 09 45
冥王星*	39.4574	247 254.5	0.2485	17 08 35	223 24 38	109 33 08

大遊星體の諸性質一覧表

	直 徑 キロ	視直徑 (平均) "	質量, 但し衛星共		反射能 %	衛 星	會合週期 日
			(太陽の)	(地球の)			
水 星	4842	10.90	1/6000000	1/16.3	7	0	115.88
金 星	12191	60.80	1/428000	1/1.24	59	0	583.92
地 球	12757	—	1/329390	1	45	1	—
火 星	6784	17.88	1/3093500	1/9.35	15	2	779.94
セレス*	780	2.05	?	?	?	0	465.0
木 星	142745	46.86	1/1047.35	315	56	11	398.88
土 星	120798	19.52	1/3501.60	94.0	63	10	378.09
天 王 星	40693	3.76	1/22369	14.4	63	4	369.66
海 王 星	52999	2.52	1/19700	16.7	73	1	367.48
冥 王 星*	6000(?)	1(?)	1/3547170	1/9.3	?	0	366.74

* セレスは小遊星であるが、参考のために掲ぐ
冥王星は、軌道や諸性質上、大遊星よりも、寧ろ海王星外の一小遊星として取扱ふべきかと思はれる。今後、第2、第3の微光星が海王星外に発見され、こゝに第2の小遊星プーシが認定されるかも知れない。

水星の1944年

水星と太陽との會合周期は116日(詳しくは

$$\frac{360^\circ}{87.97} - \frac{360^\circ}{365.26} = \frac{360^\circ}{P'}$$

から、 $P'=115.88$ として、得られる)があるから、地球から見て居て、この星の内合、外合、極大離角、停留など、平均して皆この116日毎に繰り返される。今年中、これが宵の星や、曉の星になるのは、やはり次ぎの3回づつである。

宵の星

曉の星

- (1) 3月末から4月一ぱい
- (2) 1月中旬から3月初まで
- (3) 7月と8月
- (4) 5月と6月
- (5) 11月と12月の上中旬
- (6) 9月中旬から10月中旬まで

尙、年頭の數日間は宵の星であり、又、年末の幾日かも曉の星となるが、何れも離角は充分でない。黄道と地平線との傾きから考へて、最も觀望に好都合なのは、4月初旬の宵と、9月下旬の曉の低い空である。しかし、慣れれば、他の時期にも見られるし、又、緯度の低い南洋あたりでは、東や西の極大離角の頃、容易に見つけられる。昔、コペルニクが一生涯この星を見なかつたと、言ひ傳へられてゐるけれど、あれは、東歐の緯度が高かつたのと、ヴィストラ河の霧に妨げられたのが主因である。

尙、赤道儀を有つ人々は、白晝にも此の星を容易に発見し得る。

1944年 水星の主な現象 (日本標準時)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1月 4日 6時: 近日點を通過す | 7月 2日 6時: 外合 |
| 9日 6時: 内合 | 31日 22時: 降交點を通過す |
| 20日 7時: 赤經停留 | 8月 10日 23時: 極大離角(東へ27°) |
| 2月 1日 5時: 極大離角(西へ25°) | 11日 6時: 遠日點を通過す |
| 7日 0時: 降交點を通過す | 24日 3時: 赤經停留 |
| 17日 6時: 遠日點を通過す | 9月 7日 8時: 内合 |
| 3月 18日 7時: 外合 | 15日 20時: 赤經停留 |
| 27日 15時: 昇交點を通過す | 19日 13時: 昇交點を通過す |
| 4月 1日 5時: 近日點を通過す | 23日 8時: 極大離角(西へ18°) |
| 12日 19時: 極大離角(東へ19°) | 24日 4時: 近日點を通過す |
| 22日 18時: 赤經停留 | 10月 21日 5時: 外合 |
| 5月 3日 1時: 内合 | 27日 21時: 降交點を通過す |
| 4日 23時: 降交點を通過す | 11月 5日 12時: 極大離角(東へ21°) |
| 15日 5時: 遠日點を通過す | 7日 3時: 遠日點を通過す |
| 15日 8時: 赤經停留 | 12月 15日 22時: 赤經停留 |
| 30日 8時: 極大離角(西へ25°) | 16日 13時: 昇交點を通過す |
| 6月 23日 14時: 昇交點を通過す | 21日 3時: 近日點を通過す |
| 28日 5時: 近日點を通過す | 23日 11時: 内合 |

金星の1944年

金星は、昨年末に西方への極大離角となり、そのまま尙ほ毎日の曉天の空を飾りつゝ、1944年を迎へる。年頭には、太陽に先き立つて東天に出現すること約3時間、光輝もマイナス3.7等級であるから、はるか西の地平線下に没せんとするシリウス星と、東西相對する。

極大離角を終つた後の、曉天の金星は、地球から徐々に遠ざかりつゝ、太陽の背後に向はんとする姿勢にあるので、日々の運行は誠にゆるやかで、何時までも、いつまでも、東天を去らない。漸く6月の末に至つて、外合となるが、こうした上半年中にも、1~2回だけ水星と近づくのみで、他の遊星と近づくことが一回もない。實に“東天の獨裁君主”であると言ひたいが、或は寧ろ“東天に取り残された哀れな女王”とでも形容した方が宜いかも知れぬ。——さて、7月に入ると共に、金星は久しぶりで、宵の空に復活して来るが、不思議にも、これと同じ頃、火、木、土、天、海などの諸遊星が、相前後して宵天を去り、皆、曉天に轉じて了うので、こゝ暫くは、金星はやはり孤獨の境遇にある。しかし、秋から冬へかけて、金星は日暮れの後の空へ、益々高く現はれて来る姿は立派であり、その光輝は餘りに明る過ぎて、却つて、黄道光などの観測を、或る程度、妨げるかも知れない。

要するに、金星は、この年中、或は東天に、或は西天に、光は相變らず立派であるが、しかし、地球からは一帯に遠く、視直徑は小さくて、星の表面の觀察には適するとは言へない。

1944年 金星の主要な現象 (日本標準時)

2月23日12時: 降交點を通過す	7月19日6時: 近日點を通過す
3月29日0時: 遠日點を通過す	8月10日5時: 日心極北黄緯
4月20日9時: 日心極南黄緯	10月5日5時: 降交點を通過す
6月15日17時: 昇交點を通過す	11月8日17時: 遠日點を通過す
6月27日14時: 外合	12月1日3時: 日心極南黄緯

1944年のカリントン太陽自轉期

世界時 (日本時)	世界時 (日本時)
昨12月2日856 (3日 5時32分) *第1207期始	7月8日106 (4日 11時38分) 第1215期始
30.182 (30, 19: 22) * 1208	8 4.318 (8, 16: 38) 1216
本年1月26.523 (26, 21: 33) 1209	9 31.561 (31, 22: 33) 1217
2 22.086 (22, 11: 04) 1210	10 27.083 (27, 10: 59) 1218
3 21.182 (21, 19: 22) 1211	11 25.114 (25, 11: 44) 1219
4 17.470 (17, 20: 16) 1212	12 21.417 (21, 19: 00) 1220
5 14.705 (15, 1: 55) 1213	1 18.743 (18, 2: 49) 1221
6 10.091 (10, 11: 11) 1214	

注意: *昨1943年12月のもののみ、(天界259號の正誤と補足なり。)

1944年中の金星の運行表

毎日9時	赤経	赤緯	光度	視直徑	距離	緯面	太陽間隔
月日	h m s	°	m	"	單位	%	時間分
1 1	15 42 44	-17 15.2	-3.7	16.5	1.018	68	西2 55
11	16 31 51	-15 49.3	-3.6	15.5	1.086	72	2 45
21	17 22 49	-21 23.1	-3.6	14.6	1.151	75	2 34
2 1	18 30 19	-22 12.0	-3.5	13.8	1.221	78	2 20
11	19 12 53	-21 44.7	-3.5	13.1	1.282	81	2 06
21	20 05 05	-20 13.6	-3.4	12.6	1.339	84	1 54
3 1	20 50 57	-18 01.0	-3.4	12.1	1.388	86	西1 43
11	21 40 23	-14 45.2	-3.4	11.7	1.440	88	1 33
21	22 28 11	-10 48.4	-3.3	11.3	1.488	90	1 25
4 1	23 19 12	-5 54.3	-3.3	10.9	1.537	91	1 17
11	0 04 38	-1 09.0	-3.3	10.7	1.579	93	1 11
21	0 49 51	+3 41.3	-3.3	10.4	1.615	95	1 06
5 1	1 35 28	+8 25.2	-3.3	10.2	1.648	96	西0 59
11	2 22 04	+12 50.7	-3.3	10.1	1.675	97	0 51
21	3 10 13	+16 46.1	-3.4	9.9	1.699	98	0 43
6 1	4 05 16	+20 15.7	-3.4	9.8	1.718	99	0 32
11	4 57 09	+22 29.3	-3.4	9.7	1.729	99	0 19
21	5 50 21	+23 39.2	-3.5	9.7	1.735	100	0 05
7 1	6 44 03	+23 39.9	-3.5	9.7	1.735	100	東0 09
11	7 37 18	+22 30.7	-3.5	9.7	1.729	100	0 23
21	8 29 19	+20 15.9	-3.4	9.8	1.717	100	0 35
8 1	9 24 28	+16 41.6	-3.4	9.9	1.698	99	0 47
11	10 12 35	+12 38.5	-3.4	10.0	1.674	98	0 56
21	10 59 04	+8 01.7	-3.3	10.2	1.645	97	1 03
9 1	11 48 54	+2 32.7	-3.3	10.5	1.609	95	東1 09
11	12 33 43	-2 35.4	-3.3	10.7	1.571	94	1 14
21	13 18 47	-7 39.9	-3.3	11.0	1.528	92	1 20
10 1	14 04 49	-12 28.5	-3.3	11.3	1.483	90	1 27
11	14 52 21	-16 48.5	-3.4	11.8	1.434	88	1 35
21	15 41 49	-20 27.0	-3.4	12.2	1.383	86	1 45
11 1	16 38 28	-23 24.6	-3.4	12.7	1.322	84	東1 59
11	17 31 31	-24 57.5	-3.4	13.3	1.264	82	2 12
21	18 25 10	-25 18.0	-3.5	14.0	1.203	79	2 27
12 1	19 18 17	-24 24.5	-3.5	14.7	1.141	76	2 40
11	20 09 44	-22 21.2	-3.6	15.6	1.077	73	2 52
21	20 58 47	-19 16.9	-3.7	16.7	1.009	70	3 02
翌1 1	21 49 27	-14 57.9	-3.8	17.9	0.940	69	東3 09

注意: 距離の單位は、太陽視差の公定値8".80に相當する149,500,000軒

火星の1944年

昨年の晩秋に火星は地球に近づいたが、それが済んで、今年はドンドン遠ざかりつゝ、太陽の背後へ去つて行く年である。尤も、今年の初めのうちは、まだ左程に遠くはない。視直径は、年頭に14"、二月初めに10"であるから、専門家や、熱心家は、まだ望遠鏡によつて、その表面の模様を興味深く観察する時期から去らない。火星の世界の季節は、この頃漸く春分を過ぎたばかりで、地球の世界に例へると、恰も三月末から四月初の候であるから、火星の北半球では北極の極冠が尙その最大の擴がりから、ソロソロ縮少しかゝる時であり、その代り、南極には寒い季節が始まらうとしてゐる。地球に對して、火星は其の北緯11°ぐらゐの所を真正面に見せてゐる。しかし、三月に入つて、火星の視直径が8"以下になると、詳細な観測はとゞ困難になつて来る。但し、年の初めに牛座にある火星は、三月下旬に漸く双子座に入り、それから五月の末には尙ほ蟹座を通つてゐるから、あの毒々しい赤褐色の光輝を夕暮れの天空に眺める風景としては、可なり遅くまで楽しむことが出来るわけである。

火星は一月下旬に天王星を追ひ越し、三月8日には土星の北3¹/₂°ばかりの所を東へ通り過ぎる。この前後の数日間、牛座の東部(オリオン座の北)に於いて、輪を一ぱいに開いたばかりの光度+0.2級の土星の白い光點と、光度が+0.8級に衰へた赤褐色の火星とが、頭上に并列する姿は一種の偉觀であらう。四月16日には双子座エプシロン星(3等星)の南方13°ばかりの所を通る。又、七月に入ると、火星は獅子座に於いて“大空の王者”たる木星と接近し、其の5日の晩には、木星の北方、僅か13°ばかりの所を通過する。この晩、若し晴れの空に恵まれれば、望遠鏡の持ち主も、肉眼観察者も、皆それぞれの立場に於いて、此の珍景を楽しむことが出来よう。

火星が太陽と會合するのは十月27日で、その後は曉天の星となる。

944年の火星の物理曆表

月日	光度	D地	A太	D太	緯面	視徑	位相	中央子午線
毎日9時								
1月 1日	-1.0	-11.0	4.4	+1.6	.97	14.1	30.5	145
6	-0.9	-11.2	6.6	2.9	.96	13.8	33.3	99
11	-0.5	-11.3	8.9	3.9	.95	13.4	35.9	54
16	-0.2	-11.2	11.0	4.8	.94	10.9	38.0	8
21	+0.1	-10.9	13.2	5.8	.93	9.9	39.9	322
26	+0.3	-10.6	15.3	6.7	.92	8.9	31.5	275
31	+0.5	-10.1	17.5	7.6	.92	8.1	32.9	239
2月 5	0.7	-9.6	19.6	8.5	.91	7.5	34.0	182
10	1.1	-8.9	21.8	9.4	.91	7.0	34.9	135
15	1.2	-8.2	24.0	10.3	.91	6.5	35.6	88
20	1.2	-7.4	26.2	11.1	.90	6.1	36.2	40
25	1.4	-6.6	28.3	11.9	.90	5.7	36.6	353
3月 1	+1.5	-5.7	30.5	+12.7	.90	5.4	36.9	305

1944年の火星の運行表

毎日9時	赤経	赤緯	光度	視直径	距離	視差	南中時
月日	h m s	° ' "	級	"	里	"	時分
1 1	4 11 55	+23 50.9	-1.0	14.1	0.648	13.57	21 32
11	4 09 30	+23 43.7	-0.6	12.4	0.717	12.26	20 59
21	4 12 34	+23 52.7	-0.3	11.6	0.753	11.69	20 14
2 1	4 21 22	+24 09.4	0.0	10.4	0.893	9.86	19 40
11	4 33 22	+24 30.1	0.2	9.6	0.987	8.92	19 13
21	4 48 23	+24 52.0	0.5	8.6	1.084	8.11	18 48
3 1	5 03 59	+25 09.8	0.7	7.9	1.173	7.50	18 29
11	5 23 10	+25 24.6	0.9	7.3	1.274	6.91	18 09
21	5 43 52	+25 31.5	1.0	6.9	1.374	6.40	17 50
4 1	6 08 00	+25 27.3	1.2	6.3	1.483	5.93	17 31
11	6 30 51	+25 11.1	1.3	5.9	1.580	5.65	17 14
21	6 54 18	+24 41.9	1.4	5.6	1.668	5.28	16 58
5 1	7 18 09	+23 59.1	1.5	5.4	1.766	4.98	16 42
11	7 42 12	+23 02.0	1.6	5.1	1.854	4.75	16 27
21	8 06 18	+21 52.3	1.7	4.8	1.937	4.55	16 12
6 1	8 32 46	+20 19.8	1.8	4.6	2.024	4.35	15 55
11	8 56 40	+18 42.6	1.8	4.4	2.098	4.20	15 39
21	9 20 25	+16 53.8	1.9	4.3	2.167	4.06	15 24
7 1	9 43 58	+14 54.3			2.231	3.94	15 08
11	10 07 20	+12 45.5			2.289	3.84	14 52
21	10 30 34	+10 28.2			2.342	3.76	14 36
8 1	10 56 02	+7 49.2			2.393	3.68	14 15
11	11 19 10	+5 18.6			2.436	3.61	14 02
21	11 42 22	+2 43.7	観	観	2.468	3.56	13 45
9 1	12 08 05	-0 09.9			2.499	3.52	13 28
11	12 31 45	-2 49.0	測	測	2.522	3.49	13 12
21	12 55 50	-5 27.8			2.538	3.47	12 57
10 1	13 20 24	-8 04.4			2.549	3.45	12 42
11	13 45 35	-10 36.8	不	不	2.554	3.44	12 27
21	14 11 30	-13 03.2			2.554	3.45	12 14
11 1	14 40 57	-15 34.6			2.547	3.46	12 00
11	15 08 41	-17 40.1	能	能	2.532	3.48	11 48
21	15 37 22	-19 32.3			2.521	3.50	11 37
12 1	16 07 01	-21 08.3			2.501	3.52	11 28
11	16 37 36	-22 25.4			2.477	3.55	11 19
21	17 09 01	-23 21.4			2.450	3.59	11 11
翌1 1	17 44 21	-23 55.9	1.6	5.2	2.425	3.64	11 03

木星の1944年

過去五六ケ年にも亙つて毎年秋冬の季節に観るやうな巡り合はせになつてゐた木星が、今年あたりからは、漸く春暖の候に観測し得る天體となつて來た。熱心な研究者には、寒さや暑さなどは、何の妨げともなるまいが、一般のアマチュアたちは、やはり好季節に星を楽しみたいだらうし、又、専門家だつて、氣温の快適な時期の方が、観測の能率が上るのは言ふまでもない。しかし、一方に於いて、空の晴れや曇りの模様は、季節により、又、土地により種々であるから、吾人の希望通りにはならないことが多い。

木星は今年初めの二三ヶ月間は、大體に於いて夜半の星である。既に昨年末の十二月中頃、獅子座のレグルス星の西まで接近した時、突如として逆行を始め、今年四月13日、蟹座の境界線まで歸つて來て、再び順行に移るまで、前後4ヶ月間が、地球にも近くて、表面の觀察に最も適するるのであるが、其の途中に於いて、太陽との對衝は二月16日に起る。其の時、光度は-2.1、視直徑は42"に達する。赤緯は北15°以上であるから、我が日本の天頂から20°内外で、絶好の位置である。

これ以後、木星は年末まで一路順行して、十一月中旬に乙女座に侵入するが、それよりも以前、即ち九月1日には太陽と會合する。又、七月5日の夕暮れには、火星と木星とが $\frac{1}{4}$ ぐらゐにまで近接する珍しい現象も起り、之は夏の夕べの呼びものとならう。光度は、木星が黄白色の-1.4級、火星は赤褐色の+1.9で、木星の方が20倍も大きい輝やきであるが、望遠鏡で眺めると、木星は視直徑30"、火星は4"であり、それに、附近にはガリレオ衛星が賑々しく列ぶので、實に今年中の天界に於ける壓巻であらう。火星が木星の一新衛星の如き姿で輝やくのは、永く人々の記憶に留まるだらうと思はれる。



1944年の木星の運行表

毎日9時	赤 經	赤 緯	光 度	視直徑	距離	光 速	南 時
月 日	h m s	° '		"	單位	分	時 分
1 1	9 56 23	+13 33.9	-2.0	39.8	4.621	38.4	3 19
11	53 37	13 50.9	-2.0	40.9	4.503	37.4	2 37
21	49 50	14 12.9	-2.1	41.6	4.422	36.7	1 54
2 1	9 44 46	+14 40.9	-2.1	42.1	4.365	35.3	1 06
11	39 42	15 07.8	-2.1	42.3	4.346	36.1	0 21
21	34 34	15 34.0	-2.1	42.1	4.358	36.2	23 37
3 1	9 30 12	+15 55.5	-2.1	41.8	4.395	36.5	22 57
11	25 57	16 15.6	-2.0	41.2	4.464	37.1	22 13
21	22 36	16 30.8	-2.0	40.3	4.539	37.9	21 31
4 1	9 20 12	+16 41.1	-1.9	39.2	4.689	39.0	20 45
11	19 18	16 44.2	-1.9	38.1	4.825	40.1	20 05
21	19 38	16 41.5	-1.8	37.0	4.973	41.3	19 26
5 1	9 21 11	+16 33.3	-1.7	35.8	5.129	42.6	18 48
11	23 52	16 19.7	-1.7	34.8	5.288	43.9	18 11
21	27 34	16 01.1	-1.6	33.7	5.447	45.2	17 35
6 1	9 32 41	+15 35.4	-1.5	32.7	5.616	46.7	16 57
11	38 11	15 07.6	-1.5	31.9	5.762	47.9	16 23
21	44 20	14 36.0	-1.4	31.2	5.897	49.0	15 50
7 1	9 51 03	+14 00.9	-1.4	30.5	6.020	50.0	15 18
11	58 14	13 22.7	-1.3	30.0	6.128	51.3	14 45
21	10 05 46	12 41.7	-1.3	29.6	6.219	51.7	14 14
8 1	10 14 23	+11 54.0	-1.3	29.2	6.299	52.3	13 39
11	22 25	11 08.6	-1.2	28.9	6.352	52.8	13 08
21	30 34	10 21.8	-1.2	28.8	6.385	53.1	12 36
9 1	10 39 34	+ 9 29.1	-1.2	28.7	6.397	53.2	12 02
11	47 43	8 40.8	-1.2	28.8	6.387	53.1	11 31
21	55 46	7 52.5	-1.2	28.9	6.356	52.8	11 00
10 1	11 03 37	+ 7 04.9	-1.3	29.2	6.304	52.4	10 28
11	11 14	6 18.6	-1.3	29.5	6.232	51.8	9 56
21	18 30	5 34.1	-1.3	29.9	6.142	51.0	9 24
11 1	11 25 59	+ 4 48.2	-1.4	30.5	6.023	50.0	8 48
11	32 15	4 09.9	-1.4	31.2	5.898	49.0	8 15
21	37 53	3 35.8	-1.5	31.9	5.760	47.9	7 42
12 1	11 42 47	+ 3 06.6	-1.5	32.8	5.612	46.6	6 07
11	46 50	2 43.0	-1.6	33.7	5.456	45.3	5 32
21	49 55	2 25.7	-1.6	34.7	5.297	44.0	5 56
翌1 1	11 52 07	+ 2 14.8	-1.7	35.9	5.123	42.6	5 15

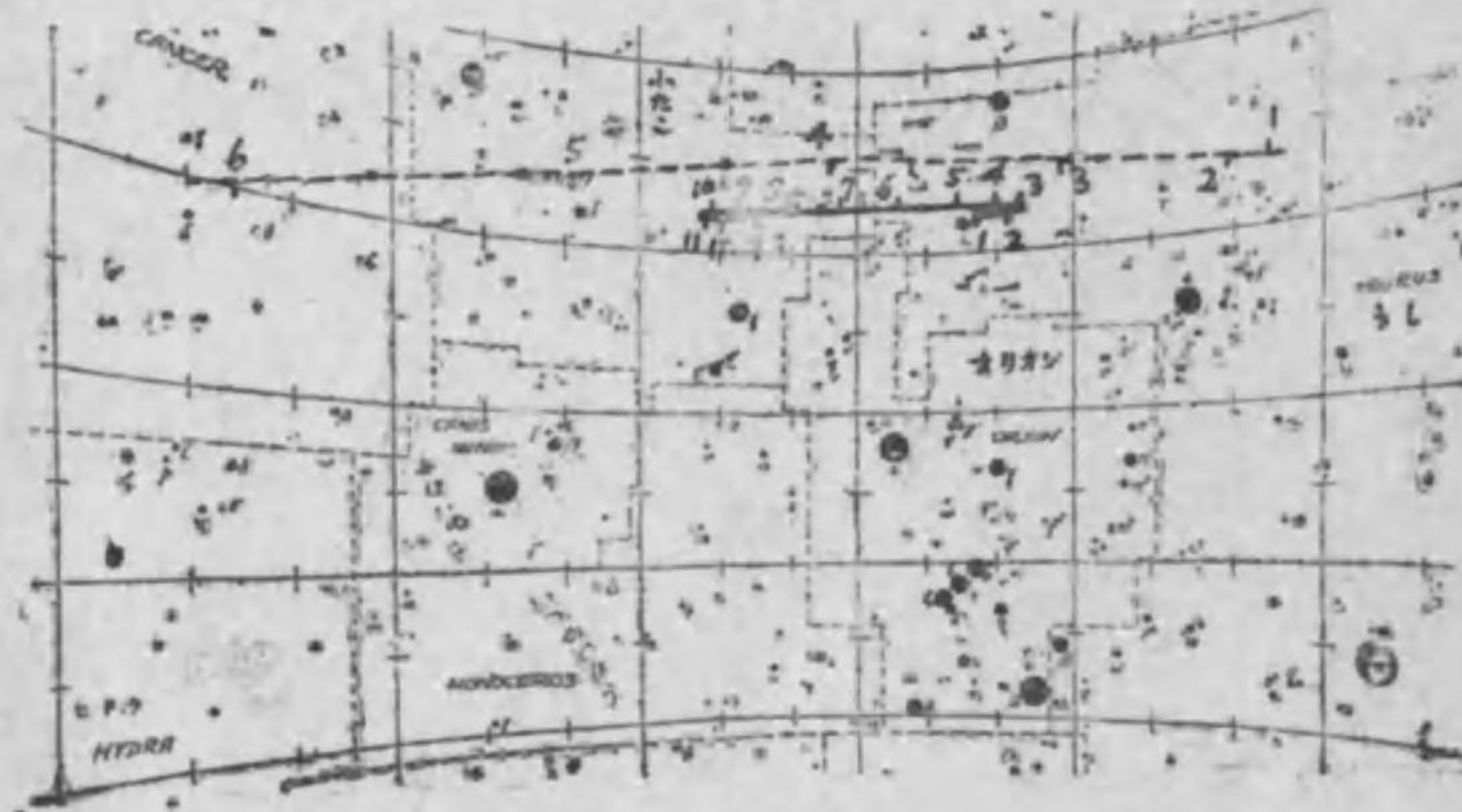
土星の1944年

土星は、昨年十月十日以来、牛座で逆行しつゝ、年末に近い十二月十三日に對衝となつたが、今年に入つてからも、尙、逆行を續けて、牛の114番星附近を動いてゐる。二月二十一日に至つて、始めて停留し、それから順行に移る。三月七日に火星が之を通り過ぎるが、火星の方が $3\frac{1}{2}^{\circ}$ ばかり北にあつて、それ以上には近づかない。土星は五月初めに牛座ゼ星の北隣を通り、同27日にはオリオン座の北部を掠め、六月十四日には双子座に侵入し、同22日には太陽と會合する。それで、七月十日にはε1星の、24日にはμ星の、何れも北隣(間隔は2〜3°以内)を通過するけれど、太陽の光芒中にあつて、とても見えない。八月からは低い曉天に再び姿を現はし、秋冷の候に入ると共に、漸次観望の好期となる。位置は、年末まで續けさまに双子座にあつて、徐々と順行中、年末の十二月二十九日に對衝となる。

この星の呼びものである輪は、年初には35"ばかりの擴がりを見せてゐるが、年末には30"以下となり、其の後は益々縮まる。しかし其れがため、次年頃から却つて外觀が美形となるだらう。

1944年中の土星の運行圖

牛座から双子座へ往きつ戻りつする毎月の位置を示す、数字は毎月1日の位置である。ついでに、火星の運行する位置も點線に入れてある。(但し、1月から6月初まで)天王星も牛座にあるが、それは22頁の圖を見られよ。



1944年の土星の運行表

毎日9時	赤経	赤緯	光度	極直徑	距離	輪の視直徑	南中時
月日	h m s	° ' "	級	''	單位	a b	時分
1 1	5 24 54	+21 49.9	-0.2	18.4	8.09	46.4 20.3	22 44
11	21 48	48.8	-0.1	18.3	8.16	46.0 20.6	22 01
21	19 11	48.1	-0.1	18.1	8.26	44.4 20.3	21 20
2 1	5 17 03	+21 48.2	0.0	17.7	8.48	44.2 20.1	20 34
11	15 53	49.2	+0.1	17.5	8.52	44.0 19.8	19 54
21	15 30	50.9	0.1	17.2	8.67	43.3 19.5	19 14
3 1	5 15 51	+21 53.3	+0.2	17.0	8.79	42.7 19.1	18 39
11	17 00	56.7	0.2	16.6	8.97	41.8 18.8	18 01
21	18 55	22 00.7	0.3	16.4	9.12	41.1 18.5	17 24
4 1	5 21 50	+22 05.7	0.3	16.0	9.32	40.3 18.2	16 43
11	25 10	10.5	0.3	15.8	9.47	39.6 17.9	16 07
21	29 03	15.3	0.3	15.5	9.61	39.0 17.7	15 32
5 1	5 33 26	+22 19.9	+0.3	15.3	9.73	38.6 17.4	14 57
11	38 13	24.1	0.3	15.2	9.84	38.1 17.2	14 23
21	43 19	27.7	0.3	15.0	9.93	37.8 17.0	13 48
6 1	5 49 14	+22 31.0	0.3	14.9	10.00	37.5 16.9	13 11
11	54 46	33.0	0.2	見	10.04	37.7 16.7	12 37
21	6 00 23	34.2	0.2	え	10.05	37.7 16.6	12 03
7 1	6 06 01	+22 34.6	+0.2	す	10.05	37.6 16.6	11 30
11	11 34	34.0	0.3	14.9	10.01	37.7 16.5	10 56
21	16 59	32.7	0.3	15.0	9.96	37.7 16.5	10 22
8 1	6 22 40	+22 30.5	0.3	15.1	9.87	38.0 16.6	9 44
11	27 31	27.9	0.3	15.3	9.77	38.4 16.6	9 10
21	32 00	24.9	0.3	15.5	9.64	38.9 16.7	8 35
9 1	6 36 22	+22 21.5	+0.3	15.7	9.51	39.5 16.9	7 56
11	39 47	18.5	0.3	16.0	9.35	40.1 17.0	7 20
21	42 35	15.8	0.3		9.19	40.8 17.2	6 44
10 1	6 44 41	+22 13.6	0.3	16.2	9.04	41.5 17.5	6 06
11	46 03	12.1	0.2	16.8	8.87	42.3 17.8	5 28
21	46 38	11.5	0.2	17.1	8.71	43.1 18.1	4 50
11 1	6 46 20	+22 11.9	+0.1	17.4	8.55	43.8 18.5	4 06
11	45 15	13.3	+0.1	17.8	8.41	44.6 18.8	3 26
21	43 25	15.6	0.0	18.0	8.29	45.3 19.2	2 44
12 1	6 40 56	+22 18.5	-0.1	18.2	8.20	45.8 19.5	2 03
11	37 55	22.0	-0.1	18.3	8.15	47.0 19.8	1 20
21	34 32	25.8	-0.2	18.4	8.09	46.4 20.0	0 38
12 1	6 30 38	+22 29.9	-0.3	18.6	8.04	46.7 20.2	23 51

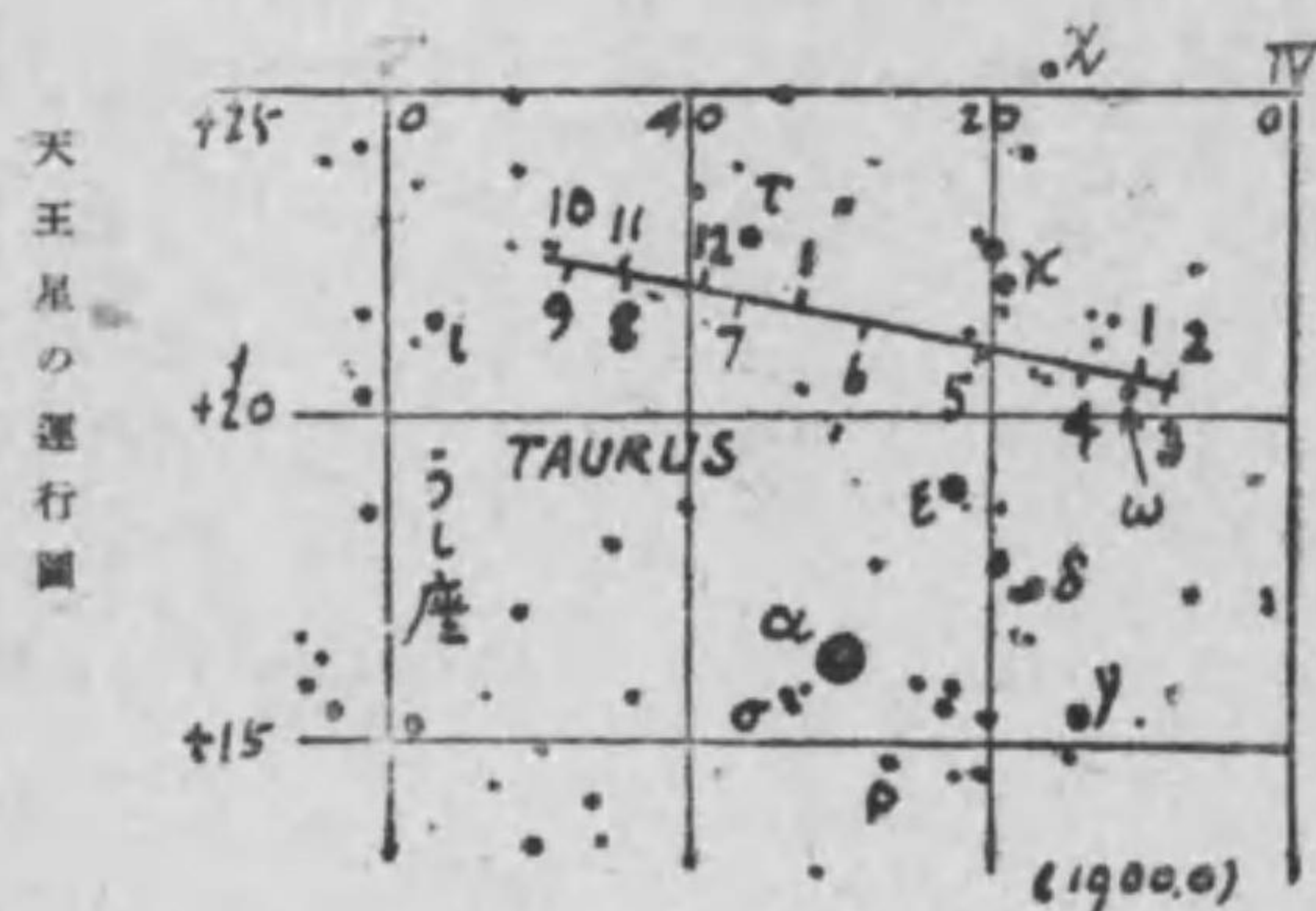
天王星の1944年

天王星は、今年も尚“牛座”のヒヤデス星群の北のあたりを往復してゐる。圖で見れば、わかることであるが、今年の上半年は可なり多くの恒星がある中を運行するが、下半年は、この星野を脱して、幾らか淋しい天空を行く。尤も、何れの場合にも、この圖をたもとすれば、見出される。理論的には、肉眼でも見えるわけであるけれど、確實に、又、迅速に見出すためには、双眼鏡を用ゐるが宜い。

年初は牛座α1星の北隣を逆行し、二月13日に停留となり、それから順行して、再びα1星の近邊を過ぎる(三月中旬)。しかし、四月頃からは、太陽の光芒中に入るため、観察が困難となり、七月一ぱいも、駄目だらう。八月になれば、曉の空に見出されるやうになり、その後は続けさまに、來年の三四月頃まで見える。九月に又停留し、それから逆行に移る。ほかの大遊星と同様、この逆行期間中が、地球に最も近く、観測に好都合である。十二月10日が太陽との赤経對衝で、地球まで18.4單位、光速時間は70分時である。視直径は3.7"であるが、これを確認しようと思へば、ほゞ100倍の倍率の望遠鏡を用ゐなければならぬ。

天王星は、人類が発見した最初の遊星で、それは今から163年前の三月13日のことであつた。この星には4つの衛星があるが、これを見るためには口径20センチ以上の反射望遠鏡を必要とする。

天王星は、少しく光が變動する。之は、自轉してゐるためである。つまり、星の表面の反射率が一樣でないので、表面の區別が現はる。適當な比較星と比べると、この種の観測は10センチ内外の器械でも行ひ得る。



1944年の天王星の運行表

毎日9時 月日	赤経 h m s	赤緯 ° ' "	光度 級	視直径 "	距離 (單位)
1 1	4 14 13	+21 15.3	6.0	3.7	19.64
16	12 56	11.4	6.0	3.6	18.83
2 1	4 11 39	+21 08.4	6.0	3.6	19.06
16	11 33	07.9	6.1	3.6	19.31
3 1	4 12 03	+21 09.1	6.1	3.5	19.53
16	12 22	12.6	6.1	3.5	19.78
4 1	4 15 35	+21 18.2			19.98
16	18 18	25.1	(観)	(観)	20.21
5 1	4 29 31	+21 32.8			20.36
16	25 04	41.3	測	測	20.45
6 1	4 29 02	+21 50.3			20.48
16	32 48	58.4	不	不	20.44
7 1	4 36 11	+22 06.0			20.35
16	39 39	12.7	(能)	(能)	20.21
8 1	4 42 36	+22 18.9	6.1	3.4	20.00
11	44 48	22.9	6.1	3.5	19.78
9 1	4 46 30	+22 26.1	6.0	3.6	19.51
16	47 06	27.5	6.0	3.6	19.26
10 1	4 48 44	+22 27.4	6.0	3.6	19.02
16	45 41	26.0	5.9	3.6	18.80
11 1	4 43 50	+22 22.8	5.9	3.7	18.61
16	41 27	18.8	5.8	3.7	18.50
12 1	4 38 54	+22 13.9	5.8	3.7	18.45
16	36 16	08.5	5.8	3.7	18.46
翌1 1	4 33 42	+22 03.1	5.9	3.7	18.56

毎日21時 月日	日心黄経 ° ' "	日心黄緯 ° ' "	日心距離 單位	毎日21時 月日	日心黄経 ° ' "	日心黄緯 ° ' "	日心距離 單位
昨12 21	67 02 53	-0 05 29	19.3612	8 17	69 46 43	-0 03 23	19.3210
本 1 30	67 27 30	-0 35 7	19.3597	9 26	70 14 35	-0 03 00	19.3133
3 10	67 55 22	-0 04 64	19.3520	11 5	70 42 29	-0 02 37	19.3053
4 19	68 23 10	-0 04 81	19.3443	12 15	71 10 25	-0 02 14	19.2974
5 29	68 50 59	-0 04 09	19.3365	翌 1 24	71 33 01	-0 02 07	19.2889
7 8	69 8 50	-0 03 46	19.3287				

海王星 ● 1944年

海王星は、年が明けると共に“おとめ座”のε1星の近くで逆行を始め、同座β星の方へ進行する。そして、三月24日に太陽と對衝の位置に達する。その頃が、地球にも近く、視直径も大きいから、ほかの惑星と同様、この前後が最も観測に適すと旨ふべきだが、しかし、海王星や天王星(冥王星も)の如き遠距離の星になると、吾々からの距離は、對衝の時でも、其の他の時でも、大して違ふわけでない。一會合期の間に、

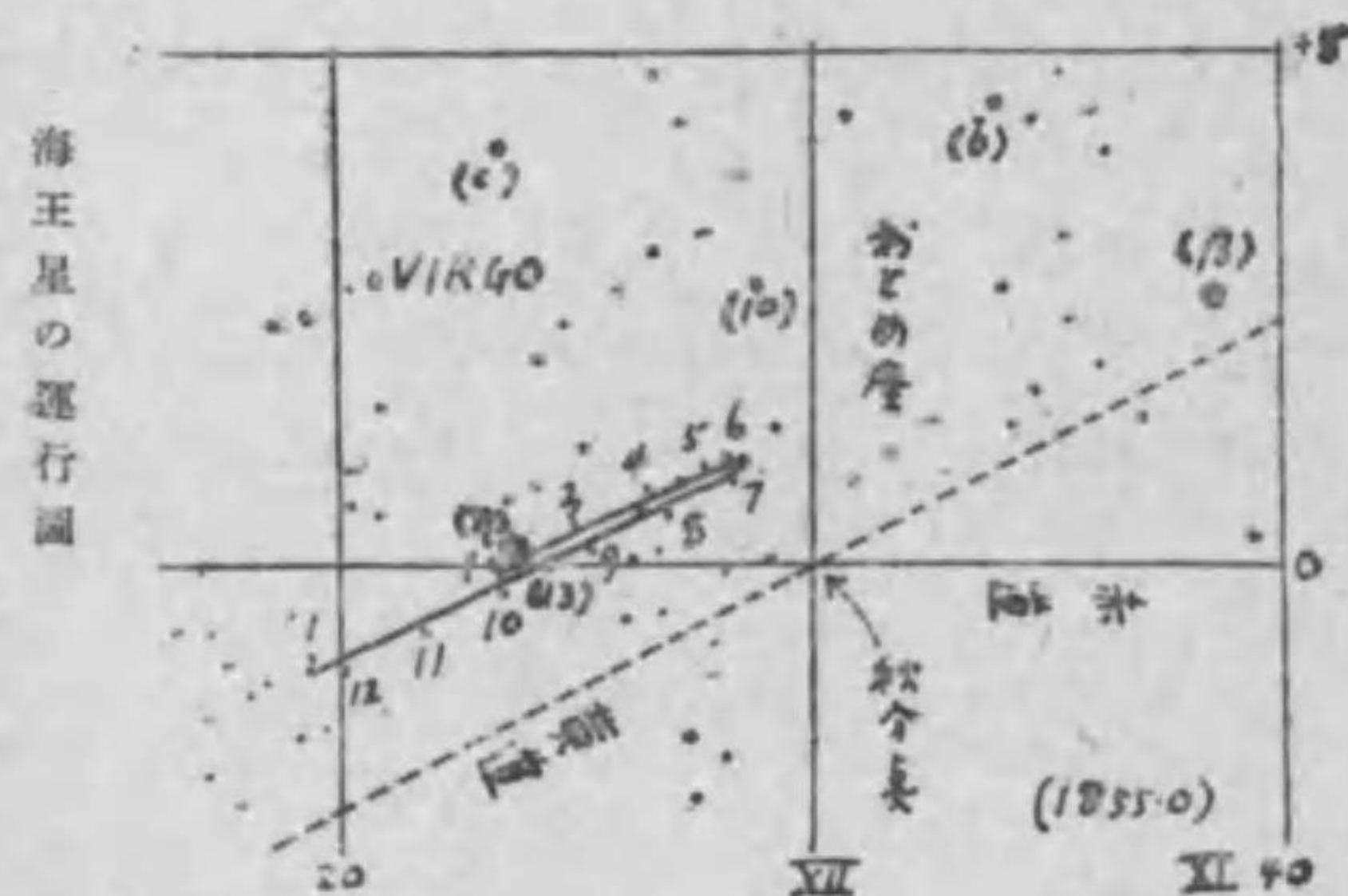
	天王星	海王星	冥王星
光度は	5.8から6.1まで	7.7から7.8まで	14.4から14.5まで
視直径は	3.3" 3.7"	2.4" 2.5"	

の範囲に變るに過ぎないから、實際の観測のためには、こんなことよりも、むしろ、太陽からの離角と、地平線からの高度(又は、天頂距離角)それに、空氣の透明度や、像の視相等の如何が重要である。従つて、又、望遠鏡の撰擇等や、その使用法についても、注意しなければならぬ。

海王星は、今年六月13日に停留し、それから順行となる。そして、年末まで、又、ε1星の南邊を通過して南下し、十二月末に再び停留して、逆行に移る。このうち、八月頃から十一月頃までは、日の光のために、観測は殆んど不可能として、あきらめねばならぬ。

海王星の発見は1846年九月であつたが、この発見は佛(ルヴェリエ)獨(ガレ)英(アダムス)の三方から其の名譽が争はれたことを思ひ出す。日本も、アメリカも、其の頃は未だ學術の進歩におくれてゐたのである。

海王星には一つの衛星があるが、これには相當に大きい器械が要る。



海王星の運行圖

1944年の海王星の運行表

毎日9時	赤經	赤緯	光度	視直径	距離
月日	h m s	°	級	"	里
1 1	12 17 46	-0 24.7	7.7	2.4	30.11
16	17 43	26.8	7.7	2.5	29.88
2 1	12 17 09	-0 19.2	7.7	2.5	29.64
16	16 18	19.0	7.7	2.5	29.45
3 1	12 15 09	-0 05.1	7.7	2.5	29.34
16	13 43	+0 04.5	7.7	2.5	29.26
4 1	12 12 07	+0 15.2	7.7	2.5	29.26
16	10 39	26.4	7.7	2.5	29.32
5 1	12 09 23	+0 32.5	7.7	2.5	29.45
16	08 24	38.9	7.7	2.5	29.63
6 1	12 07 46	+0 41.9	7.7	2.4	29.86
16	07 37	42.3	7.7	2.4	30.10
7 1	12 07 53	+0 39.9	7.8	2.4	30.35
16	09 37	34.6	7.8	2.4	30.60
8 1	12 10 49	+0 26.2	(見)	(見)	30.84
16	12 18	16.0	(見)	(見)	31.02
9 1	12 14 11	+0 03.6	え	え	31.16
16	16 09	00.8	え	え	31.24
10 1	12 18 15	-0 12.3	す	す	31.25
16	20 13	35.4	す	す	31.20
11 1	12 22 14	-0 48.0			31.08
16	23 55	57.8			30.92
12 1	12 25 17	-1 06.4	7.8	2.4	30.70
16	26 16	1 12.0	7.7	2.4	30.46
翌1	12 25 49	-1 14.5	7.7	2.4	30.18

1944年 海王星の日心位置

毎日21時	日心黄經	日心黄緯	日心距離	毎日21時	日心黄經	日心黄緯	日心距離
月日	°	' "	里	月日	°	' "	里
昨12 21	182 19 35	+1 23 06	30.2636	7 8	183 30 56	+1 24 35	30.2692
本年1 30	182 33 41	+1 23 36	30.2649	8 17	183 45 13	+1 24 52	30.2703
3 10	182 48 07	+1 23 19	30.2660	9 26	183 59 29	+1 25 10	30.2714
4 19	183 02 23	+1 24 00	30.2671	11 5	184 13 46	+1 25 28	30.2725
5 29	183 16 40	+1 24 17	30.2681	12 15	184 28 03	+1 25 45	30.2735
7 8	183 30 56	+1 24 35	30.2692	翌1 24	184 41 42	+1 26 18	30.2746

冥王星の1944年

年が年中、常に閻冥界に君臨してゐて、メツタに姿を現はさないといふ古譚に因んで命名された冥王星は、光度が14等級以下であるから、中形や小形の望遠鏡では、全く何とも設し方がない。是非、世界的の大望遠鏡を用うなければならぬ。日本で此の星の見える器械は田上の46センチの反射鏡のみであるが、十数年前、故中村要氏は、自作の16センチF3鏡につて、寫眞撮影に成功したことがあつた。しかし、眼視でも、寫眞でも、何れの場合にも、この星を、多くの微光星野の中に発見するためには、15等級ぐらゐまでの星を含む星圖が必要である、これが無ければ、望遠鏡だけを、いくら大きくしても駄目である。

冥王星は、1930年の初めに発見された時には、双子座 γ 星の近くで、殆んど黄道上であつたかが、今は早くも蟹座の西北部に移つて、ク ν 星の西を徐ろに往復してゐる。今1944年は、初めは逆行中で、一月28日に太陽と對衝となり、四月20日に西留、八月2日に太陽と會合、十一月12日に東留となる。

軌道が非常に楕圓的であつて、近日點は1987年に通過する筈であるため、冥王星は年々、少しづつ、太陽にも、地球にも近づきつつあるが、今年末に至るも、尙、地球からは36單位(55億キロ)で、光達時間は304分(即ち5時間4分)である。しかし、1987年の近日點に於ては、海王星よりも近くなつて、光度も13等級となり、15センチ級の反射鏡でも一寸その姿が見えるやうになると思ふと、その時が切りに待たれる。

1944年の月の遠近

近地點通過		遠地點通過	
1月26日19時半	8月6日7時	1月14日9時	7月25日2時半
2月24日8時	9月3日15時	2月10日15時半	8月21日15時
3月23日19時半	10月2日2時	3月8日16時半	9月17日19時半
4月20日23時半	10月30日11時半	4月5日3時	10月14日23時
5月18日7時	11月27日12時半	5月2日20時	11月11日12時
6月12日9時半	12月23日20時半	5月30日15時	12月9日7時半
7月9日6時半		6月27日9時半	

備考 月から地球までの平均距離は384400軒であるけれど、軌道の離心率0.0549であるから、
 近地點では 363300軒 となり、
 遠地點では 405500軒 となる。

944年の冥王星の運行表

毎日9時	赤經 (1950.0)	赤緯 (1950.0)	光度	地球より距離
月 日	h m s	°	級	單位
1 1	8 49 07	+23 33.1	14.4	36.97
2 1	8 46 46	+23 46.4	14.4	36.85
3 1	8 43 56	+23 57.7	14.5	37.03
4 1	8 42 00	+24 03.0	14.5	37.46
5 1	8 42 00	+24 01.6	14.5	37.88
6 1	8 43 16	+23 54.0		38.34
7 1	8 46 02	+23 42.8	(日見 光え のため)	38.64
8 1	8 49 38	+23 29.8		38.72
9 1	8 53 21	+23 18.7		38.60
10 1	8 56 11	+23 12.5		38.12
11 1	8 57 48	+23 12.8	14.5	37.61
12 1	8 57 53	+23 20.3	14.5	37.11
翌 1 1	8 56 13	+23 33.1	14.5	36.73

1944年 冥王星の日心位置

毎日21時	日心黄經	軌道面へ引直し	日心黄緯	日心距離
月 日	°	'	°	單位
昨 12 21	127 27.0	+46.7	+5 24.1	37.896
本 3 10	127 47.5	+47.4	+5 27.8	37.838
5 29	128 06.1	+48.1	+5 33.5	37.782
8 17	128 25.6	+48.7	+5 41.0	37.725
11 5	128 45.3	+49.5	+5 46.7	37.668
翌 1 24	129 05.0	+50.2	+5 52.3	37.612

(1950.0の分點)

恒星名のギリシヤ文字

ギリシヤ文字	發音 略して	ギリシヤ文字	發音 略して	ギリシヤ文字	發音 略して	ギリシヤ文字	發音 略して
α	アルファ	β	ベータ	γ	ガンマ	δ	デルタ
ε	エプシロン	ζ	ゼータ	η	ヘタ	θ	シータ
ι	イオタ	κ	カプタ	λ	ラムダ	μ	ミュー
ν	ニュー	ξ	クシ	ο	オミクロン	π	パイ
ρ	ロー	σ	シグマ	τ	タウ	υ	ユウ
φ	ファイ	χ	キ	ψ	プシ	ω	オメガ

著名なる小遊星の表

Table with columns: 番號, 名, 稱, 平均距離, 近日距離, 遠日距離, 離心率, 傾斜, 周期, 平均光度. Lists various asteroids like 1 セベラス, 2 ユノス, etc.

衛星表

Table with columns: 遊星番號, 名, 稱, 平均距離, 周期, 離心率, 傾斜, 発見者, 発見年, 平均光度. Lists moons of planets like 地球-月, 火星-1, 木星-1, etc.

第4號の小遊星ヴェスタの位置豫報

Table with columns: 日附(世界時0時), α(1950.0), δ(1950.0), log r, log Δ, 光度. Provides predicted positions for asteroid 4 Vesta from 1943 to 1945.

1944年の彗星界

大戦争時代にも拘らず、一昨 1942 年には七つも彗星が出現したが、昨 1943 年は六つのものが発見され、そのうち豫期された四つの週期星が一つ(ダレスト星)しか認められなかつたのは淋しかつた。——さて、今 1944 年は、下の三つの星が、それぞれ近日点が歸つて来る。

星の名	周期	近日点距離	離心率	引数	昇交点	傾斜	歸來期
エンケ	3.31	0.332	0.846	185 11	334 45	12 21	8 月
テンベル・スキフト	6.16	1.483	0.559	161 29	241 40	13 17	7 月
コマス・ソラ	8.54	1.777	0.575	38 47	65 42	13 43	4 月

このうち、エンケ彗星は過去 150 年間にわたり度々歸來した星で、最初の出現が 1786 年に行はれて以來、こんどは第 42 回といふ超記録の保持者である。平均週期は $3\frac{1}{3}$ 年であるから、3 回目の出現の度毎にほぼ同様な關係が、地球や太陽との間に繰返される。従つて、今年の出現は、去る 1934 年の出現と同じ條件である。此の星は、1934 年には九月に近日点通過をやつた。今年は八月といふ豫想である。一帯に、晩夏初秋の時期に近日点通過をやる時は、この星は、始終我が地球から見て、太陽の向ふ側を巡つてゐることになるから、観測は極めて困難である。之れに反して冬期(1938年)や春期(1941年)に近日点へ歸つて来る場合は、観測が容易である。今 1944 年は、今までの實例から見ると、最も困難なまはり合はせとなつてゐる。恐らく七月頃に 14~15 等級の星霧状として発見されるだらう。しかし、近日点に近づくと、急に此の星は光を増すから、さう失望したものではない。観測地としては、北半球よりも南半球が好いと思はれるけれど。

テンベル・スキフト彗星は、1869年にテンベルが発見し、又、1880年にスキフトが獨立発見した星で、週期は $6\frac{1}{6}$ 年であるが、初発見以來、幾度も見失はれてゐる。今までに見えたのは、上記のほか、1881年と 1908 年とであるが、こうして首尾よく発見された年の近日点通過は皆十月~十一月頃である。今 1944 年の豫想は七月に近日点を通する筈であるから、これも、観測の技術上から言ふと、発見は頗る困難である。或は秋になつて、微光の姿を漸く誰かが捕へるかも知れない。

コマス・ソラ彗星は 1926 年秋にスペインのコマス・ソラ氏が発見したもので、1935年に再現したが、今年は第 3 回の出現待望である。近日点は四月にやつて来る筈なのであるが、早くも昨年(1943年)十月 2 日に、デンランドのオテルマ女史によつて発見された。

一年中の主な流星群

出現期間	極大時 (1950.)	輻射點			性状	備考 週期、関連する彗星
		赤經	赤緯	附近の星		
1月1日-5日	日 3.8	232°	+48°	龍(四分儀)	速, 長	週期1.46年? *
1月下旬-2月上旬		213	+52	牧夫 κ	甚迅	
4月5日-25日		210	-10	乙女 κ	緩	火球多し
4月5日-20日		231	+27	冠 α	速	1)
4月15日-25日	22.1	271	+33	琴 κ	速	2) *+
5月3日-10日	4±2	335	-2	水瓶 η	速, 痕	3) *+
6月25日-7月1日	27.7	228	+58	大熊 ε	緩	4) +
7月22日-8月10日	28	340	-17	大瓶 δ	緩, 長	*+
7月25日-8月10日	27	355	+50	カンオベヤ β	微光	
7月25日-8月5日	1	342	-33	南魚 α	緩, 長	+
7月25日-8月10日	4	303	-10	山羊 α	緩, 長	5)
7月15日-8月20日	12.7	45	+57	ペルセウス γ	速, 痕	6) *+
8月30日-9月2日	1.0	86	+41	駟者 τ	速	7)
10月9日-11日	10.2	266	+53	龍 γ	緩	8)
10月16日-25日	21.9	92	+15	オリオン ξ	速, 痕	9) *+
10月20日-28日	23	98	+14	双子 γ	速, 痕	*
10月下旬-11月上旬		43	+22	羊 41	緩, 輝	火球多し
11月上旬-中旬		58	+9	牛 λ	緩, 輝	火球多し
11月5日-20日	16.9	150	+22	獅子 γ	速, 痕	10) *+
11月17日-25日		25	+43	アンドロメダ γ	甚緩	11)
11月20日-23日		63	+22	牛 κ	緩, 輝	
11月16日-12月8日		155	+39	大熊 μ	速, 痕	
12月7日-17日	14.1	113	+32	双子 θ	速, 短	週期1.8年 *+
12月20日-22日		218	+76	小熊 β	稍緩	12)

* 出現顯著なるもの

+ 輻射點の移動の確認されたもの(表の位置は極大のときの位置を示す)

流星群に関連する彗星

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1) 1847 I | 7 1911 II (キース) |
| 2) 1861 (週期415年?) | 8 ジャコビ彗星, 週期6.6年 |
| 3) ハリ彗星(降交點), 週期76年 | 9 ハリ彗星(昇交點) |
| 4) キンネケ彗星, 週期6年 | 10 1866 I, 週期33.2年 |
| 5) 1881 V, 週期8.8年 | 11 ビーラ彗星, 週期6.7年 |
| 6) 1862 III, 週期108年? | 12 タトル彗星, 週期13.5年 |

(小 續)

1943年 北の星の視位置

正しい方向を知るため、又、天の北極を求めるため。

日 附	北極星 (小熊α星)		磁極星 (大熊α星)		
	視赤経	視赤緯	北極星より遅速	赤 経	赤 緯
	h m s	° ' "	分 秒	h m s	° ' "
1月 1日	1 45 35	+89 00.1	+0:17	13:45:18	+49 35.4
16日	45 17	00.2	-0:02	19	35.3
2月 1日	1 44 57	+89 00.2	-0:23	13:45:20	+49 35.3
15日	44 39	00.2	-0:42	21	35.3
3月 1日	1 44 24	+89 00.1	-0:56	13:45:20	+49 35.3
16日	44 12	00.0	-1:10	22	35.4
4月 1日	1 44 04	+88 59.9	-1:17	13:45:21	+49 35.5
16日	44 02	59.9	-1:20	22	35.5
5月 1日	1 44 05	+88 59.8	-1:17	13:45:22	+49 35.6
16日	44 13	59.7	-1:08	21	35.7
6月 1日	1 44 27	+88 59.7	-0:54	13:45:21	+49 35.7
16日	44 43	59.7	-0:49	22	35.7
7月 1日	1 45 00	+88 59.6	-0:21	13:45:21	+49 35.8
16日	45 19	59.6	-0:01	20	35.8
8月 1日	1 45 39	+88 59.7	+0:19	13:45:20	+49 35.8
16日	45 57	59.7	+0:37	20	35.8
9月 1日	1 46 13	+88 59.8	+0:54	13:45:19	+49 35.7
16日	46 26	59.9	+1:06	20	35.7
10月 1日	1 46 35	+89 00.0	+1:16	13:45:19	+49 35.6
16日	46 40	00.0	+1:21	19	35.6
11月 1日	1 46 42	+89 00.1	+1:23	13:45:19	+49 35.5
16日	42 38	00.2	+1:19	19	35.3
12月 1日	1 46 30	+89 00.3	+1:10	13:45:20	+49 35.2
16日	46 18	00.4	+0:58	20	35.2
翌1月 1日	1 46 01	+89 00.4	+0:40	13:45:21	+49 35.1

注意：-は遅れ、+は進み

読者への注意

1. 特別の記載なき限り、全て日本中央標準時による。
2. 日出日没(第3頁)、月出月没(第5-7頁)は特に田上に於けるものを記した。
3. 第38-49頁の天文年表に於ては下記の略字を用ひた。
日:太陽 水:水星 金:金星 火:火星 木:木星
土:土星 天:天王星 海:海王星 冥:冥王星

明るい36恒星の一覧表

星 の 名	学名(略)	光 度	分 光 型	赤 経	赤 緯
				h m	° ' "
アケルナ1	α Eri	0.60	B5	1 35.6	-57°32'
アルゼニブ	α Per	1.90	F5	3 20.2	+49 39
アルデバラン	α Tau	1.06	K5	4 23.6	+16 24
リゲル	γ Ori	0.34	B8p	5 11.7	- 8 16
カベラ	α Aur	0.21	G0	5 21.4	+45 56
ベラトリクス	γ Ori	1.70	B2	5 22.0	+ 6 18
ナツ	γ Tau	1.78	B8	5 22.6	+28 34
アルニラム	ε Ori	1.75	B0	5 33.3	- 1 14
ベテルギウス	α Ori	(1)	M0	5 52.0	+ 7 24
カノープス	α ar	-0.86	F0	6 22.7	-52 40
アルヘナ	~ Gem	1.93	A0	6 34.4	+16 27
シリウス	α CMa	-1.58	A0	6 42.6	-16 38
アダイラ	ε CMa	1.63	B1	6 56.3	-28 54
カストア	α Gem	1.58	A0	7 30.9	+32 01
プロシオン	α CMi	0.48	F5	7 36.3	+ 5 23
ボルクス	γ Gem	1.21	K0	7 41.8	+28 10
—	ε Car	1.74	K0	8 21.3	-59 19
マヤブラシダス	β Car	1.80	A0	9 12.6	-69 29
レグルス	α Leo	1.34	B8	10 05.3	+12 15
—	α UMa	1.95	K0	11 00.2	+62 04
ドベ	α Cru	1.1	B1	12 23.4	-62 47
—	γ Cru	1.61	M3	12 27.9	-56 47
—	β Cru	1.50	B1	12 44.3	-59 22
アリヨツ	ε UMa	1.68	A0p	12 51.5	+56 36
スピカ	α Vir	1.21	B2	13 22.1	-10 52
ベネトナシ	γ UMa	1.91	B3	13 45.3	+49 36
—	β Cep	0.86	B1	13 59.7	-60 06
アクトウル	α Boo	0.2	K0	14 13.0	+19 29
—	α Sco	0.0	G0	14 35.6	-60 36
アンタレス	α Sco	1.2	M0	16 25.8	-26 18
—	α TrA	1.88	K2	16 42.5	-68 55
シヤウラ	λ Sco	1.71	B2	*17 29.7	-37 04
ヴェガ	α Lyr	0.14	A0	18 35.0	+38 44
アルタイル	α Aql	0.89	A5	19 48.0	+ 8 43
デネブ	α Cyg	1.33	A2p	20 39.5	+45 04
プロムヘイト	α PsA	1.29	A3	22 54.5	-29 56

アルゴル星の極小光度 (1944年)

週期を2日867318として計算したもので、日本標準時により、日心修正も施してある。

Table with columns for months (一月 to 十二月) and times (日時). It lists the magnitude of Algol at various times throughout the year.

此の星は一帶に光輝が大きいので、肉眼だけで十分に観測出来る。比較星は下の三つが最も便利である。

ベルセウス座α星(1.90) 同δ星(3.10) 同γ星(3.98)

天文常数表

Table of astronomical constants including solar distance, Earth's radius, and various stellar parameters.

星座一覧表

Table listing constellations with columns for name (学名), translation (邦訳), and visibility period (夕暮南中期).

100年間の赤経の歳差

赤緯	赤経	+ 0°	+ 10°	+ 20°	+ 30°	+ 40°	+ 50°	+ 60°	+ 70°
18	18	+5.12	+4.73	+4.31	+3.84	+3.26	+2.47	+1.26	- 1.00
19	17	+5.12	+4.74	+4.34	+3.88	+3.32	+2.56	+1.40	- 0.79
20	16	+5.12	+4.78	+4.42	+4.01	+3.50	+2.82	+1.78	- 0.18
21	15	+5.12	+4.84	+4.55	+4.21	+3.80	+3.25	+2.39	+ 0.80
22	14	+5.12	+4.93	+4.72	+4.48	+4.19	+3.80	+3.19	+ 2.06
23	13	+5.12	+5.02	+4.91	+4.79	+4.64	+4.44	+4.12	+ 3.54
0	12	+5.12	+5.12	+5.12	+5.12	+5.12	+5.12	+5.12	+ 5.12
1	11	+5.12	+5.22	+5.33	+5.45	+5.61	+5.81	+6.12	+ 6.71
2	10	+5.12	+5.32	+5.53	+5.77	+6.06	+6.45	+7.05	+ 8.18
3	9	+5.12	+5.40	+5.70	+6.03	+6.44	+7.00	+7.85	+ 9.45
4	8	+5.12	+5.46	+5.82	+6.24	+6.74	+7.42	+8.46	+10.42
5	7	+5.12	+5.50	+5.91	+6.36	+6.93	+7.69	+8.85	+11.03
6	6	+5.12	+5.51	+5.93	+6.41	+6.99	+7.78	+8.98	+11.24
赤緯	赤経	0°	- 10°	- 20°	- 30°	- 40°	- 50°	- 60°	- 70°

百年間の赤緯の歳差

年	赤緯	赤緯
18	0.0	18
19	+ 8.6-	17
20	+16.7-	16
21	+23.6-	15
22	+28.9-	14
23	+32.3-	13
0	+33.4-	12
1	+32.3-	11
2	+28.9-	10
3	+23.6-	9
4	+16.7-	8
5	+ 8.6-	7
6	0.0	6

比例部分表

部分	10	20	30	40	50
10	1.67	3.33	5.00	6.67	8.33
20	3.33	6.67	10.00	13.33	16.67
30	5.00	10.00	15.00	20.00	25.00
40	6.67	13.33	20.00	26.67	33.33
50	8.33	16.67	25.00	33.33	41.67
60	10.00	20.00	30.00	40.00	50.00
70	11.67	23.33	35.00	46.67	58.33
80	13.33	26.67	40.00	53.33	66.67
90	15.00	30.00	45.00	60.00	75.00
100	16.67	33.33	50.00	66.67	83.33

地球の大気による屈折角と減衰光度

観高 度	屈折角	減光	天頂 距離	観高 度	屈折角	減光	天頂 距離	観高 度	屈折角	減光	天頂 距離
0	34 23	m	90	30	1 40	0.23	60	60	0 33	0.03	30
1	24 16		89	31	1 36	0.21	59	61	32	0.03	29
2	18 12	3.0	88	32	1 32	0.20	58	62	31	0.03	28
3	14 19	2.4	87	33	1 29	0.19	57	63	29	0.02	27
4	11 41	2.0	86	34	1 26	0.18	56	64	28	0.02	26
5	9 48	1.7	85	35	1 22	0.17	55	65	27	0.02	25
6	8 25	1.5	84	36	1 20	0.16	54	66	26	0.02	24
7	7 21	1.3	83	37	1 17	0.15	53	67	25	0.02	23
8	6 31	1.2	82	38	1 14	0.14	52	68	23	0.01	22
9	5 50	1.1	81	39	1 11	0.13	51	69	22	0.01	21
10	5 17	1.0	80	40	1 09	0.12	50	70	21	0.01	20
11	4 49	0.90	79	41	1 06	0.11	49	71	20	0.01	19
12	4 26	0.82	78	42	1 04	0.10	48	72	19	0.01	18
13	4 06	0.76	77	43	1 02	0.10	47	73	18	0.01	17
14	3 48	0.70	76	44	1 00	0.09	46	74	17	0.01	16
15	3 33	0.65	75	45	0 58	0.09	45	75	16	0.01	15
16	3 19	0.60	74	46	56	0.08	44	76	14	0.01	14
17	3 07	0.56	73	47	54	0.08	43	77	13	0.00	13
18	2 56	0.52	72	48	52	0.07	42	78	12	0.00	12
19	2 47	0.48	71	49	50	0.07	41	79	11	0.00	11
20	2 38	0.45	70	50	49	0.06	40	80	10	0.00	10
21	2 30	0.32	69	51	47	0.06	39	81	9	0.00	9
22	2 22	0.39	68	52	45	0.05	38	82	8	0.00	8
23	2 16	0.36	67	53	44	0.05	37	83	7	0.00	7
24	2 09	0.34	66	54	42	0.04	36	84	6	0.00	6
25	2 03	0.32	65	55	41	0.04	35	85	5	0.00	5
26	1 58	0.30	64	56	39	0.04	34	86	4	0.00	4
27	1 53	0.28	63	57	38	0.03	33	87	3	0.00	3
28	1 48	0.26	62	58	36	0.03	32	88	2	0.00	2
29	1 44	0.24	61	59	35	0.03	31	89	1	0.00	1
30	1 40	0.23	60	60	33	0.03	30	90	0	0.00	0

注意 屈折角は佛人ラドIの算定せるもので、気圧760mm、気温10°Cの場合の値
減衰光度はボアダム天文臺にて決定したものとす

1944年

一月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 21時
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	土	5.0	甲子	元旦, 四方拜	+2.5	-3.0	336.1	-3:00	2431091
2	日	6.0	乙丑		+2.1	-3.1	322.9	-3:29	092
3	月	7.0	丙寅	元始祭, 上弦	+1.6	-3.2	309.7	-3:57	093
4	火	8.0	丁卯	水星が近日點, 流星a	+1.1	-3.3	296.6	-4:25	094
5	水	9.0	戊辰	宮中新年會	+0.6	-3.5	283.4	-4:53	095
6	木	10.0	(己巳)"小寒"		+0.1	-3.6	270.2	-5:20	096
7	金	11.0	庚午		-0.4	-3.7	257.0	-5:46	097
8	土	12.0	辛未	海王星が東留	-0.9	-3.8	243.9	-6:13	098
9	日	13.0	壬申	水星が内合	-1.3	-3.9	230.7	-6:38	099
10	月	14.0	癸酉	満月	-1.8	-4.0	212.6	-7:04	100
11	火	15.0	甲戌		-2.3	-4.1	204.4	-7:28	101
12	水	16.0	乙亥	火星が西留	-2.8	-4.2	191.2	-7:52	102
13	木	17.0	丙子		-3.3	-4.3	178.0	-8:16	103
14	金	18.0	丁丑	月が遠地點	-3.7	-4.4	164.9	-8:39	104
15	土	19.0	戊寅	アルゴル極小	-4.2	-4.5	151.7	-9:01	105
16	日	20.0	己卯		-4.7	-4.6	138.5	-9:23	106
17	月	21.0	庚辰	アルゴル極小	-5.1	-4.7	125.4	-9:44	107
18	火	22.0	辛巳	冬の土用入	-5.6	-4.8	112.2	-10:04	108
19	水	23.0	壬午	下弦	-6.1	-4.9	99.0	-10:24	109
20	木	24.0	癸未	水星が停留	-6.6	-5.0	85.9	-10:43	110
21	金	25.0	甲申	"大寒"	-7.0	-5.1	72.7	-11:01	111
22	土	26.0	乙酉		-7.5	-5.2	59.5	-11:19	112
23	日	27.0	丙戌		-7.9	-5.3	46.4	-11:35	113
24	月	28.0	丁亥		-8.4	-5.4	33.2	-11:51	114
25	火	29.0	戊子	皆既日蝕(南米)	-8.8	-5.5	20.0	-12:07	115
26	水	0.5	己丑	新月b, 舊正月朔	-9.2	-5.5	6.9	-12:21	116
27	木	1.5	庚寅		-9.7	-5.6	33.7	-12:35	117
28	金	2.5	辛卯		-10.1	-5.7	340.5	-12:48	118
29	土	3.5	壬辰	冥王星が對衝	-10.5	-5.8	327.4	-13:00	119
30	日	4.5	癸巳		-11.0	-5.9	314.2	-13:11	120
31	月	5.5	甲午		-11.4	-5.9	301.0	-13:21	121

a四分儀座流星群, b近地點

1944年

二月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 21時
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	火	6.5	乙未	水星極大離角(西)上弦	-11.8	-6.0	287.9	-13:31	2431
2	水	7.5	丙申		-12.2	-6.1	274.7	-13:40	123
3	木	8.5	丁酉		-12.6	-6.1	261.5	-13:47	124
4	金	9.5	戊戌	節分	-13.0	-6.2	248.4	-13:54	125
5	土	10.5	己亥	"立春"	-13.4	-6.3	235.2	-14:01	126
6	日	11.5	庚子	アルゴル極小	-13.8	-6.3	222.0	-14:06	127
7	月	12.5	辛丑	水星が降交點	-14.2	-6.4	208.9	-14:10	128
8	火	13.5	壬寅		-14.6	-6.5	195.7	-14:14	129
9	水	14.5	癸卯	アルゴル極小, 満月	-15.0	-6.5	182.5	-14:17	130
10	木	15.5	甲辰	月が遠地點	-15.3	-6.6	169.4	-14:19	131
11	金	16.5	乙巳	紀元節	-15.7	-6.6	156.2	-14:21	132
12	土	17.5	丙午		-16.1	-6.7	143.0	-14:21	133
13	日	18.5	丁未		-16.4	-6.7	129.9	-14:21	134
14	月	19.5	戊申		-16.8	-6.8	116.7	-14:20	135
15	火	20.5	己酉		-17.1	-6.8	103.5	-14:18	136
16	水	21.5	庚戌	木星が對衝	-17.5	-6.9	90.4	-14:16	137
17	木	22.5	辛亥	水星が遠日點, 下弦	-17.8	-6.9	77.2	-14:13	138
18	金	23.5	壬子		-18.1	-6.9	64.0	-14:09	139
19	土	24.5	癸丑		-18.5	-7.0	50.9	-14:05	140
20	日	25.5	甲寅	"雨水"	-18.8	-7.0	37.7	-13:59	141
21	月	26.5	乙卯	土星が停留	-19.1	-7.0	24.5	-13:54	142
22	火	27.5	丙辰		-19.4	-7.1	11.3	-13:47	143
23	水	28.5	丁巳	金星が降交點	-19.7	-7.1	358.2	-13:40	144
24	木	0.0	戊午	月が近地點で新月	-20.0	-7.1	345.0	-13:32	145
25	金	1.0	己未		-20.3	-7.1	331.8	-13:24	146
26	土	2.0	(庚申)		-20.5	-7.2	318.7	-13:15	147
27	日	3.0	辛酉		-20.8	-7.2	305.5	-13:05	148
28	月	4.0	壬戌		-21.1	-7.2	292.3	-12:55	149
29	火	5.0	癸亥	アルゴル極小	-21.4	-7.2	279.1	-12:44	150

1944年

三月の天文暦

日附	七曜	月曜 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)			ユリウス日 (21時)	
					軸位	央緯	陽差		
1	水	6.0	甲子		-21.6	-7.2	266.0	-12:33	2431151
2	木	7.0	乙丑	上弦	-21.9	-7.2	252.8	-12:21	152
3	金	8.0	丙寅		-22.1	-7.2	239.6	-12:09	153
4	土	9.0	丁卯		-22.3	-7.2	226.4	-11:56	154
5	日	10.0	戊辰		-22.6	-7.3	213.3	-11:43	155
6	月	11.0	【己巳】	地久節・“啓蟄”	-22.8	-7.3	200.1	-11:29	156
7	火	12.0	庚午	火星と土星と會合	-23.0	-7.2	186.9	-11:15	157
8	水	13.0	辛未	月が遠地點・火と土 ^a	-23.2	-7.2	173.8	-11:01	158
9	木	14.0	壬申		-23.4	-7.2	160.6	-10:46	159
10	金	15.0	癸酉	満月・陸軍記念日	-23.6	-7.2	147.4	-10:30	160
11	土	16.0	甲戌		-23.8	-7.2	134.2	-10:15	161
12	日	17.0	乙亥		-24.0	-7.2	121.0	-9:59	162
13	月	18.0	丙子		-24.2	-7.2	107.9	-9:42	163
14	火	19.0	丁丑		-24.4	-7.2	94.7	-9:26	164
15	水	20.0	戊寅		-24.5	-7.1	81.5	-9:09	165
16	木	21.0	己卯		-24.7	-7.1	68.3	-8:52	166
17	金	22.0	庚辰		-24.8	-7.1	55.1	-8:35	167
18	土	23.0	辛巳	下弦・彼岸入・水星 ^b	-25.0	-7.1	42.0	-8:17	168
19	日	24.0	壬午		-25.1	-7.0	28.8	-8:00	169
20	月	25.0	癸未		-25.2	-7.0	15.6	-7:42	170
21	火	26.0	甲申	春季皇靈祭 ^c	-25.4	-7.0	2.4	-7:24	171
22	水	27.0	乙酉		-25.5	-7.0	349.2	-7:06	172
23	木	28.0	丙戌	月が近地點	-25.6	-6.9	336.0	-6:48	173
24	金	29.0	丁亥	海王星對衝・新月	-25.7	-6.9	322.8	-6:30	174
25	土	0.6	戊子	社日	-25.8	-6.8	309.7	-6:12	175
26	日	1.6	己丑	イイスタ	-25.9	-6.8	296.5	-5:54	176
27	月	2.6	庚寅	水星が昇交點通過	-26.0	-6.8	283.3	-5:35	177
28	火	3.6	辛卯		-26.0	-6.7	270.1	-5:17	178
29	水	4.6	壬辰	金星が遠日點	-26.1	-6.7	256.9	-4:59	179
30	木	5.6	癸巳		-26.2	-6.6	243.7	-4:41	180
31	金	6.6	甲午	上弦	-26.2	-6.6	230.5	-4:23	181

a 火星と土星と會合す、b 外合、c 春分、アルゴル極小光度

1944年

四月の天文暦

日附	七曜	月曜 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)			ユリウス日 (21時)	
					軸位	央緯	陽差		
1	土	7.6	乙未	泰暦元旦	a-26.3	-6.5	217.3	-4:04	2431182
2	日	8.6	丙申		-26.3	-6.4	204.1	-3:46	183
3	月	9.6	丁酉	神武天皇祭	-26.3	-6.4	190.9	-3:29	184
4	火	10.6	戊戌		-26.4	-6.3	177.7	-3:11	185
5	水	11.6	己亥	“清明”月が遠地點	-26.4	-6.3	164.6	-2:53	186
6	木	12.6	庚子		-26.4	-6.2	151.4	-2:36	187
7	金	13.6	辛丑		-26.4	-6.1	138.2	-2:18	188
8	土	14.6	壬寅	濃佛會	-26.4	-6.1	125.0	-2:01	189
9	日	15.6	癸卯	満月・上巳節	-26.4	-6.0	111.8	-1:45	190
10	月	16.6	甲辰		-26.4	-5.9	98.6	-1:28	191
11	火	17.6	乙巳		-26.3	-5.9	85.4	-1:12	192
12	水	18.6	丙午	水星極大離角(東)	-26.3	-5.8	72.2	-0:56	193
13	木	19.6	丁未	木星が西留	-26.3	-5.7	59.0	-0:40	194
14	金	20.6	戊申		-26.2	-5.6	45.8	-0:24	195
15	土	21.6	己酉		-26.1	-5.5	32.6	-0:09	196
16	日	22.6	庚戌	火星 ^b ・下弦	-26.1	-5.5	19.4	+0:05	197
17	月	23.6	辛亥	春の土用入り	-26.0	-5.4	6.2	+0:20	198
18	火	24.6	壬子		-25.9	-5.3	352.9	+0:34	199
19	水	25.6	癸丑		-25.8	-5.2	339.7	+0:47	400
20	木	26.6	甲寅	“穀雨”金 ^c 、月 ^d	-25.8	-5.1	326.5	+1:00	202
21	金	27.6	乙卯	冥王星が西留	-25.7	-5.0	313.3	+1:13	202
22	土	28.6	丙辰	水星が停留	-25.5	-5.0	300.1	+1:25	203
23	日	0.3	丁巳	新月	-25.4	-4.9	286.9	+1:37	204
24	月	1.3	戊午		-25.3	-4.8	273.7	+1:48	205
25	火	2.3	己未		-25.2	-4.7	260.5	+1:59	206
26	水	3.3(庚申)			-25.0	-4.6	247.3	+2:09	207
27	木	4.3	辛酉		-24.9	-4.5	234.0	+2:19	208
28	金	5.3	壬戌		-24.7	-4.4	220.8	+2:28	209
29	土	6.3	癸亥	天長節	-24.6	-4.3	207.6	+2:37	210
30	日	7.33	甲子	上弦	-24.4	-4.2	194.4	+2:46	211

a 近日點、b 双子座星に接近、c 日心緯南緯線、d 近地點

1944年

五月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	月	8.3	乙丑		-24.2	-4.1	181.2	+2:54	2431212
2	火	9.3	丙寅	八十八夜・月が遠地點	-24.1	-4.0	168.0	+3:01	213
3	水	10.3	丁卯	水星が外合	-23.9	-3.9	154.8	+3:08	214
4	木	11.3	戊辰	水星が降交點	-23.7	-3.8	141.5	+3:14	215
5	金	12.3	[己巳]		-23.5	-3.7	128.3	+3:20	216
6	土	13.3	庚午	“立夏”	-23.3	-3.6	115.1	+3:25	217
7	日	14.3	辛未		-23.1	-3.5	101.9	+3:30	218
8	月	15.3	壬申	満月	-22.8	-3.4	88.6	+3:34	219
9	火	16.3	癸酉		-22.6	-3.2	75.4	+3:37	220
10	水	17.3	甲戌		-22.4	-3.1	62.2	+3:40	221
11	木	18.3	乙亥		-22.1	-3.0	49.0	+3:43	222
12	金	19.3	丙子		-21.9	-2.9	35.8	+3:45	223
13	土	20.3	丁丑		-21.6	-2.8	22.6	+3:46	224
14	日	21.3	戊寅		-21.3	-2.7	9.3	+3:46	225
15	月	22.3	己卯	水星遠日點で停留 ^a	-21.1	-2.6	356.1	+3:47	226
16	火	23.3	庚辰	月が近地點	-20.8	-2.5	342.9	+3:46	227
17	水	24.3	辛巳		-20.5	-2.4	329.6	+3:45	228
18	木	25.3	壬午		-20.2	-2.2	316.4	+3:43	229
19	金	26.3	癸未		-19.9	-2.1	303.2	+3:41	230
20	土	27.3	甲申		-19.6	-2.0	290.0	+3:38	231
21	日	28.3	乙酉	“小滿”	-19.3	-1.9	276.7	+3:34	232
22	月	29.3	丙戌	新月	-19.0	-1.8	263.5	+3:31	233
23	火	0.9	丁亥		-18.7	-1.6	250.3	+3:26	234
24	水	1.9	戊子		-18.3	-1.5	237.1	+3:21	235
25	木	2.9	己丑		-18.0	-1.4	223.8	+3:15	236
26	金	3.9	庚寅	端午節	-17.7	-1.3	210.6	+3:09	237
27	土	4.9	辛卯	海軍記念日	-17.3	-1.2	197.3	+3:03	238
28	日	5.9	壬辰		-17.0	-1.1	184.1	+2:56	239
29	月	6.9	癸巳		-16.6	-0.9	170.9	+2:49	240
30	火	7.9	甲午	月が上弦 ^b ・水星 ^c	-16.3	-0.8	157.6	+2:41	241
31	水	8.9	乙未		-15.9	-0.7	144.4	+2:33	242

a下弦 b遠地點 c緯大偏角(西)

1944年

六月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日6時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	木	9.9	丙申	天王星が會合	-15.5	-0.6	131.2	+2:24	2431243
2	金	10.9	丁酉		-15.1	-0.5	117.9	+2:15	244
3	土	11.9	戊戌		-14.8	-0.3	104.7	+2:02	245
4	日	12.9	己亥		-14.4	-0.2	91.5	+1:56	246
5	月	13.9	庚子		-14.0	-0.1	78.2	+1:46	247
6	火	14.9	辛丑	“芒種”	-13.6	0.0	65.0	+1:35	248
7	水	15.9	壬寅	満月	-13.2	+0.1	51.8	+1:24	249
8	木	16.9	癸卯		-12.8	+0.3	38.5	+1:13	250
9	金	17.9	甲辰		-12.4	+0.4	25.3	+1:02	251
10	土	18.9	乙巳	時の記念日	-12.0	+0.5	12.0	+0:51	252
11	日	19.9	丙午	入梅	-11.6	+0.6	358.8	+0:39	253
12	月	20.9	丁未	月が近地點	-11.1	+0.7	345.6	+0:27	254
13	火	21.9	戊申	海王星が西留	-10.7	+0.9	332.4	+0:14	255
14	水	22.9	己酉	下弦	-10.3	+1.0	319.1	+0:02	256
15	木	23.9	庚戌	金星が昇交點	-9.9	+1.1	305.9	-0:11	257
16	金	24.9	辛亥		-9.4	+1.2	292.6	-0:24	258
17	土	25.9	壬子		-9.0	+1.3	279.4	-0:37	259
18	日	26.9	癸丑		-8.6	+1.5	266.1	-0:50	260
19	月	27.9	甲寅		-8.1	+1.6	252.9	-1:03	261
20	火	28.9	乙卯		-7.7	+1.7	239.7	-1:16	262
21	水	0.4	丙辰	“夏至”新月	-7.3	+1.8	226.5	-1:29	263
22	木	1.4	丁巳	土星が會合	-6.8	+1.9	213.2	-1:42	264
23	金	2.4	戊午	水星が昇交點	-6.4	+2.0	200.0	-1:55	265
24	土	3.4	己未		-5.9	+2.2	186.7	-2:08	266
25	日	4.4(庚申)			-5.5	+2.3	173.5	-2:21	267
26	月	5.4	辛酉		-5.0	+2.4	160.2	-2:24	268
27	火	6.4	壬戌	月が遠地點・金星 ^a	-4.6	+2.5	147.0	-2:46	269
28	水	7.4	癸亥	水星が近日點	-4.1	+2.6	133.8	-2:59	270
29	木	8.4	甲子	上弦	-3.7	+2.7	120.6	-3:11	271
30	金	9.4	乙丑		-3.2	+2.8	107.3	-3:23	272

a外合

1944年

七月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)			ユリウス日 (21時)	
					軸位	央緯	陽差		
1	土	10.4	丙寅		-2.7	+2.9	94.1	-3:35	2431273
2	日	11.4	丁卯	水星外合	-2.3	+3.1	80.8	-3:46	274
3	月	12.4	戊辰		-1.8	+3.2	67.6	-3:58	275
4	火	13.4	(己巳)		-1.4	+3.3	54.4	-4:09	276
5	水	14.4	庚午	アルゴル極小・火a	-0.9	+3.4	41.1	-4:19	277
6	木	15.4	辛未	満月	-0.5	+3.5	27.9	-4:29	278
7	金	16.4	壬申		0.0	+3.6	14.7	-4:39	279
8	土	17.4	癸酉	“小暑”	+0.4	+3.7	1.4	-4:49	280
9	日	18.4	甲戌	月が近地点	+0.9	+3.8	348.2	-4:58	281
10	月	19.4	乙亥	双子 μ が土星に接近	+1.3	+3.9	335.0	-5:07	282
11	火	20.4	丙子		+1.8	+4.0	321.7	-5:15	283
12	水	21.4	丁丑		+2.2	+4.1	308.5	-5:23	284
13	木	22.4	戊寅	下弦	+2.7	+4.2	295.3	-5:31	285
14	金	23.4	己卯		+3.1	+4.3	282.0	-5:38	286
15	土	24.4	庚辰		+3.6	+4.4	268.8	-5:45	287
16	日	25.4	辛巳		+4.0	+4.5	255.6	-5:51	288
17	月	26.4	壬午		+4.5	+4.6	242.3	-5:56	289
18	火	27.4	癸未		+4.9	+4.7	229.1	-6:02	290
19	水	28.4	甲申	金星が近日点	+5.4	+4.8	215.9	-6:06	291
20	木	29.4	乙酉	土用入り・日蝕a新月	+5.8	+4.9	202.6	-6:10	292
21	金	0.9	丙戌		+6.2	+4.9	189.4	-6:14	293
22	土	1.9	丁亥		+6.7	+5.0	176.2	-6:17	294
23	日	2.9	戊子	“大暑”	+7.1	+5.1	163.0	-6:19	295
24	月	3.9	己丑	双子 μ が土星に接近	+7.5	+5.2	149.7	-6:21	296
25	火	4.9	庚寅	月が遠地点	+7.9	+5.3	136.5	-6:22	297
26	水	5.9	辛卯		+8.4	+5.4	123.3	-6:23	298
27	木	6.9	壬辰		+8.8	+5.4	110.0	-6:23	299
28	金	7.9	癸巳	アルゴル極小・上弦	+9.2	+5.5	96.8	-6:22	300
29	土	8.9	甲午		+9.6	+5.6	83.6	-6:21	301
30	日	9.9	乙未		+10.0	+5.7	70.3	-6:19	302
31	月	10.9	丙申	水星が降交点	+10.4	+5.8	57.1	-6:17	303

a木星と會合 b金環蝕

1944年

八月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)			ユリウス日 (21時)	
					軸位	央緯	陽差		
1	火	11.9	丁酉		+10.8	+5.8	44.9	-6:14	2431304
2	水	12.9	戊戌	冥王星が會合	+11.2	+5.9	30.7	-6:10	305
3	木	13.9	己亥		+11.6	+6.0	17.6	-6:06	306
4	金	14.9	庚子	満月	+12.0	+6.0	4.2	-6:01	307
5	土	15.9	辛丑		+12.4	+6.1	351.0	-5:55	308
6	日	16.9	壬寅	月が近地点	+12.8	+6.2	337.8	-5:49	309
7	月	17.9	癸卯		+13.2	+6.2	324.6	-5:42	310
8	火	18.9	甲辰	“立秋”	+13.5	+6.3	311.4	-5:35	311
9	水	19.9	乙巳		+13.9	+6.4	298.1	-5:27	312
10	木	20.9	丙午	金星a 水星b	+14.3	+6.4	284.9	-5:19	313
11	金	21.9	丁未	水が近日点・下弦	+14.6	+6.5	271.7	-5:10	314
12	土	22.9	戊申		+15.0	+6.5	258.6	-5:00	315
13	日	23.9	己酉		+15.3	+6.6	245.3	-4:50	316
14	月	24.9	庚戌		+15.7	+6.6	232.0	-4:39	317
15	火	25.9	辛亥		+16.0	+6.7	218.8	-4:28	318
16	水	26.9	壬子		+16.4	+6.7	205.6	-4:17	319
17	木	27.9	癸丑	アルゴル極小	+16.7	+6.8	192.4	-4:04	320
18	金	28.9	甲寅		+17.0	+6.8	179.1	-3:52	321
19	土	0.3	乙卯	新月	+17.4	+6.8	165.9	-3:39	322
20	日	1.3	丙辰		+17.7	+6.9	152.7	-3:25	323
21	月	2.3	丁巳	月が遠地点	+18.0	+6.9	139.5	-3:11	324
22	火	3.3	戊午		+18.3	+7.0	126.3	-2:56	325
23	水	4.3	己未	“處暑”	+18.6	+7.0	113.2	-2:41	326
24	木	5.3	(庚申)	水星が停留	+18.9	+7.0	99.9	-2:25	327
25	金	6.3	辛酉	七夕祭	+19.2	+7.1	86.7	-2:09	328
26	土	7.3	壬戌		+19.5	+7.1	73.4	-1:53	329
27	日	8.3	癸亥	上弦	+19.8	+7.1	60.2	-1:36	330
28	月	9.3	甲子		+20.1	+7.1	47.0	-1:19	331
29	火	10.3	乙丑		+20.3	+7.1	33.8	-1:01	332
30	水	11.3	丙寅		+20.6	+7.2	20.6	-0:43	333
31	木	12.3	丁卯	木星が會合	+20.9	+7.2	7.4	-0:25	334

a日心極北黄緯 b極大離角(東)

1944年

九月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	金	13.3	戊辰	二百十日	+21.1	+7.2	354.2	-0:06	2431335
2	土	14.3	[己巳]	于良盆會	+21.4	+7.2	341.1	+0:13	336
3	日	15.3	庚午	満月 ^a	+21.6	+7.2	327.9	+0:32	337
4	月	16.3	辛未		+21.9	+7.2	314.7	+0:52	338
5	火	17.3	壬申		+22.1	+7.2	301.3	+1:12	339
6	水	18.3	癸酉		+22.3	+7.2	288.1	+1:32	340
7	木	19.3	甲戌	水星が内合	+22.6	+7.3	274.9	+1:52	341
8	金	20.3	乙亥	"白露"	+22.8	+7.3	261.7	+2:12	342
9	土	21.3	丙子	アルゴル極小、下弦	+23.0	+7.2	248.5	+2:33	343
10	日	22.3	丁丑		+23.2	+7.2	235.3	+2:54	344
11	月	23.3	戊寅	二百二十日	+23.4	+7.2	222.1	+3:14	345
12	火	24.3	己卯		+23.6	+7.2	208.9	+3:35	346
13	水	25.3	庚辰		+23.8	+7.2	195.7	+3:56	347
14	木	26.3	辛巳		+24.0	+7.2	182.5	+4:18	348
15	金	27.3	壬午	水星が停留	+24.1	+7.2	169.3	+4:39	349
16	土	28.3	癸未		+24.3	+7.2	156.1	+5:00	350
17	日	29.3	甲申	月が遠地點、新月	+24.5	+7.2	142.9	+5:21	351
18	月	0.6	乙酉	猶太曆元旦	+24.6	+7.1	129.7	+5:42	352
19	火	1.6	丙戌	水星が昇交點	+24.8	+7.1	116.5	+6:03	353
20	水	2.6	丁亥	彼岸	+24.9	+7.1	103.3	+6:25	354
21	木	3.6	戊子	社日、天王星東留	+25.1	+7.1	90.1	+6:46	355
22	金	4.6	己丑		+25.2	+7.0	76.9	+7:07	356
23	土	5.6	庚寅	秋季皇靈祭、 ^b 水星 ^c	+25.3	+7.0	63.7	+7:28	357
24	日	6.6	辛卯	水星 ^d	+25.4	+7.0	50.5	+7:49	358
25	月	7.6	壬辰	上弦	+25.5	+6.9	37.3	+8:09	359
26	火	8.6	癸巳		+25.6	+6.9	24.1	+8:30	360
27	水	9.6	甲午		+25.7	+6.9	10.9	+8:50	361
28	木	10.6	乙未		+25.8	+6.8	357.7	+9:11	362
29	金	11.6	丙申	アルゴル極小、 ^海	+25.9	+6.8	344.5	+9:31	363
30	土	12.6	丁酉		+26.0	+6.7	331.3	+9:51	364

^a近地點 ^b"秋分" ^c極大離角(西) ^d近日點 會合

1944年

十月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	央緯	央經	陽差	
1	日	13.6	戊戌	アルゴル極小	+26.1	+6.7	318.1	+10:10	3431365
2	月	14.6	己亥	月が近地點で満月 ^a	+26.1	+6.6	304.9	+10:30	366
3	火	15.6	庚子		+26.2	+6.6	291.7	+10:49	367
4	水	16.6	辛丑		+26.2	+6.5	278.5	+11:07	368
5	木	17.6	壬寅	金星が降交點	+26.2	+6.5	265.3	+11:26	369
6	金	18.6	癸卯		+26.3	+6.4	252.1	+11:44	370
7	土	19.9	甲辰		+26.3	+6.4	239.0	+12:01	371
8	日	20.6	乙巳		+26.3	+6.3	225.8	+12:18	372
9	月	21.6	丙午	下弦、"寒露"	+26.4	+6.2	212.7	+12:35	373
10	火	22.6	丁未		+26.4	+6.2	199.4	+12:51	374
11	水	23.6	戊申		+26.4	+6.1	186.2	+13:07	375
12	木	24.6	己酉		+26.4	+6.0	173.0	+13:22	376
13	金	25.6	庚戌		+26.4	+6.0	159.8	+13:37	377
14	土	26.6	辛亥	月が遠地點	+26.4	+5.9	146.6	+13:51	378
15	日	27.9	壬子		+26.3	+5.8	133.4	+14:05	379
16	月	28.6	癸丑		+26.3	+5.7	120.2	+14:18	280
17	火	29.6	甲寅	新月、神嘗祭	+29.3	+5.7	107.0	+14:31	381
18	水	0.9	乙卯		+26.2	+5.6	93.8	+14:42	382
19	木	1.9	丙辰		+26.2	+5.5	80.7	+14:54	383
20	金	2.9	丁巳		+26.1	+5.4	67.5	+15:05	384
21	土	3.9	戊午	水星が外合、土用	+26.0	+5.3	54.3	+15:15	385
22	日	4.9	己未	アルゴル極小	+26.0	+5.2	41.1	+15:24	386
23	月	5.4	(庚申)	"霜降"	+25.9	+5.2	27.9	+15:33	387
24	火	6.9	辛酉	アルゴル極小、 ^{上星} ^b	+25.8	+5.1	14.7	+15:41	388
25	水	7.9	壬戌	上弦、重陽節	+25.7	+5.0	1.5	+15:49	389
26	木	8.9	癸亥		+25.6	+4.9	348.3	+15:55	390
27	金	9.9	甲子	火星會合、水星 ^c	+25.5	+4.8	335.1	+16:01	391
28	土	10.9	乙丑		+25.3	+4.7	322.0	+16:07	392
29	日	11.9	丙寅		+25.2	+4.6	308.8	+16:11	393
30	月	12.9	丁卯	月が近地點	+25.1	+4.5	295.6	+16:15	394
31	火	13.9	戊辰	満月	+24.9	+4.4	272.4	+16:18	395

^a仲秋の名月 ^b東留 ^c降交點

1944年

十一月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	赤緯	黄緯	陽差	
1	水	14.9	己巳		+24.6	+4.3	269.2	+16:21	3431396
2	木	15.9	庚午		+24.4	+4.2	256.0	+16:22	397
3	金	16.9	辛未	明治節	+24.3	+4.1	242.8	+16:23	398
4	土	17.9	壬申		+24.1	+4.0	229.7	+16:23	399
5	日	18.9	癸酉	水星極大離角(東)	+23.9	+3.9	216.5	+16:22	400
6	月	19.9	甲戌		+23.7	+3.8	203.3	+16:20	401
7	火	20.9	乙亥	“立冬” 水星 ^a	+23.5	+3.7	190.1	+16:17	402
8	水	21.9	丙子	金星が遠日點、下弦	+23.2	+3.6	176.9	+16:14	403
9	木	22.9	丁丑		+23.0	+3.4	163.7	+16:09	404
10	金	23.9	戊寅		+22.8	+3.3	150.6	+16:04	405
11	土	24.9	己卯	アルゴル極小、月 ^b	+22.5	+3.2	137.4	+15:58	406
12	日	25.9	庚辰	冥王星東留	+22.3	+3.1	124.2	+15:51	407
13	月	26.9	辛巳	アルゴル極小、冥 ^c	+22.0	+3.0	111.0	+15:43	408
14	火	27.9	壬午		+21.8	+2.9	97.8	+15:35	409
15	水	28.9	癸未		+21.5	+2.8	84.6	+15:25	410
16	木	0.2	甲申	アルゴル極小、新月	+21.2	+2.6	71.5	+15:15	411
17	金	1.2	乙酉		+20.9	+2.5	58.3	+15:04	412
18	土	2.2	丙戌		+20.6	+2.4	45.1	+14:52	413
19	日	3.2	丁亥		+20.3	+2.4	31.9	+14:39	414
20	月	4.2	戊子		+20.0	+2.2	18.7	+14:25	415
21	火	5.2	己丑		+19.7	+2.0	5.5	+14:10	416
22	水	6.2	庚寅	“小雪”	+19.4	+1.9	352.4	+13:55	417
23	木	7.2	辛卯	新嘗祭、上弦	+19.1	+1.8	339.2	+13:39	418
24	金	8.2	壬辰		+18.7	+1.7	326.0	+13:22	419
25	土	9.2	癸巳		+18.4	+1.5	312.8	+13:05	420
26	日	10.2	甲午		+18.0	+1.4	299.6	+12:46	421
27	月	11.2	乙未	月が近日點	+17.7	+1.3	286.5	+12:27	422
28	火	12.2	丙申		+17.3	+1.2	273.3	+12:08	423
29	水	13.2	丁酉		+16.9	+1.0	250.1	+11:47	424
30	木	14.2	戊戌	満月	+16.6	+0.9	246.9	+11:26	425

a遠日點 b遠地點 c東留

1944年

十二月の天文暦

日附	七曜	月齢 (正午)	干支	主要事項	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					軸位	赤緯	黄緯	陽差	
1	金	15.2	己亥	金星 ^a	+16.2	+0.8	233.7	+11:04	2431426
2	土	16.2	庚子		+15.8	+0.7	220.6	+10:42	427
3	日	17.2	辛丑		+15.4	+0.5	207.4	+10:19	428
4	月	18.2	壬寅	アルゴル極小	+15.0	+0.4	194.2	+9:55	429
5	火	19.2	癸卯	天王星對衝	+14.6	+0.3	181.0	+9:31	430
6	水	20.2	甲辰	アルゴル極小	+14.2	+0.1	167.9	+9:06	431
7	木	21.2	乙巳	下弦、“大雪”	+13.8	0.0	154.7	+8:40	432
8	金	22.2	丙午	大詔奉戴日	+13.3	-0.1	141.5	+8:14	433
9	土	23.2	丁未	月が遠地點	+12.9	-0.2	128.3	+7:48	434
10	日	24.2	戊申	天王星對衝	+12.5	-0.4	115.2	+7:21	435
11	月	25.2	己酉		+12.0	-0.5	92.0	+6:54	436
12	火	26.2	庚戌		+11.6	-0.6	88.8	+6:26	437
13	水	27.9	辛亥		+11.2	-0.7	75.6	+5:58	438
14	木	28.2	壬子		+10.7	-0.9	62.5	+5:29	439
15	金	29.2	癸丑	水星が停留、新月	+10.3	-1.0	49.3	+5:00	440
16	土	0.5	甲寅	水星が昇交點	+9.8	-1.1	36.1	+4:31	441
17	日	1.5	乙卯	回々曆元旦	+9.3	-1.2	22.9	+4:02	442
18	月	2.5	丙辰		+8.9	-1.4	9.8	+3:33	443
19	火	3.5	丁巳		+8.4	-1.5	356.6	+3:03	444
20	水	4.5	戊午		+7.9	-1.6	343.4	+2:33	445
21	木	5.5	己未	水星が近日點	+7.5	-1.8	330.2	+2:03	446
22	金	6.5	(庚申)	“冬至”	+7.0	-1.9	317.1	+1:33	447
23	土	7.5	辛酉	上弦 ^b 、水星 ^c	+6.5	-2.0	303.9	+1:03	448
24	日	8.5	壬戌		+6.0	-2.0	290.7	+0:33	449
25	月	9.5	癸亥	大正天皇祭 ^d	+5.6	-2.2	277.5	+0:04	450
26	火	10.5	甲子		+5.1	-2.4	264.4	-0:26	451
27	水	11.5	乙丑		+4.6	-2.5	251.2	-0:56	452
28	木	12.5	丙寅		+4.1	-2.6	238.0	-1:25	453
29	金	13.5	丁卯	土星對衝、満月	+3.6	-2.7	224.9	-1:55	454
30	土	14.5	戊辰		+3.1	-2.8	211.7	-2:24	455
31	日	15.5	己巳		+2.7	-3.0	198.5	-2:52	456
翌1	月	16.5	庚午		+2.2	-3.1	185.3	-3:21	457

a日心極南黄緯 b近日點 c内合 dクリスマス

太陽の大きさ

視直径	31' 59.26	自轉軸の傾斜	6° 57'
實直径	109.05倍(地球の)1389800キロ	赤道昇交點	黄經 74 30
表面積	(地球の) 11890倍	自轉週期	赤道にて 25 日 緯度30度にて 26.5日 同 40度にて 27 日 兩極にて 31 日
全體積	(同) 301200倍		
平均密度	(同) 四分之一		
全質量	(同) 333432倍	活動週期	11.13年
表面重力	(同) 27.6倍	表面の有効温度	攝氏6000度
脱出速度	618キロ(秒速)		

月に關する資料

恒星月	27日 7時 43分 11秒5	全體積(地球の)	50分の1	
回帰月	27 7 43 4.7		平均密度(同)	0.62
近點月	27 13 18 33.1		全質量(同)	81.45分の1
交會月	27 5 5 35.8	表面重力(同)	0.165	
朔望月	29 12 44 2.8	脱出速度	2.39キロ(秒速)	
平均距離	{ 60.26654(地球半径の) 384395キロ	自轉軸の傾斜	5° 8'	
視半径	31分3.74秒	秤動の範圍	黄經 8° 黄緯 6° 50'	
實半径	{ 0.27227(地球半径) 1736.6キロ			
表面積	地球の15分の1	可視面積	5分9分(全表面の)	

地球の大きさの資料

長軸(赤道半径)	6377388米	地球の全體積	1083223990000 立方キロ
短軸(極軸の半径)	6356912米	平均密度	5.52(水の)
子午線の半径	297.0分の1	離心半径	0.82(長軸の)
子午線の離心率	0.081992	同密度	8
子午線全周の4分の1	10001993米	外殼密度	3.0
等面積の球の半径	6371.4米	赤道の回轉速度	1秒時468米
等體積の球の半径	6371033米	赤道海水面の重力	980.052センチ米
子午線の等長なる球の半径	6367467米	表面脱出速度	11.2キロ(秒速)
地球の全表面積	510070868平方キロ	地軸の傾斜	23度27分

最近年の天文学界

學曆1937年七月から支那事變が始まり、同1939年九月から第2次歐洲大戰となり、1941年十二月8日から大東亞戦争が起つて、殆んど全世界は今や混亂の最中であり、従つて學界も甚だしく亂れてゐる。各國の天文学者も戦野に戦つてゐる人が多からうし、天文臺も閉鎖したり、主要な器械を取り外したりして、研究は机上のものだけに集中されてゐるらしく思はれるが、しかし、實は必ずしも左様でない。我が國に於いても、都市に近い天文臺は、設備の様様變へも行はれてゐるやうであるが、田上や、緯度觀測所などでは、平時と少しも變らず、觀測と研究とを續けてゐる。

諸外國との交通や通信は、特種のものを除き、殆んど不可能となつたが、しかし、東亞共榮圏内の諸國や、ソ聯、スエーデン等の國々和我國との間は通信も比較的容易であるし、國際天文同盟からの回報や學術電報などは安全に到着しつつある——これ等の消息を綜合して見ると、この大戰中にも拘らずドイツ、イタリアを始め、盟邦各國及び獨軍占領下のフランス、ベルギー、デンマーク、ハンガリー等の歐洲各國に於いては、(全部とは言はないにしても)天體觀測を勵んでゐる天文臺は可なり在る。英國ではグリニチ始め殆んど休止してゐるらしい。米國も休止してゐる天文臺は若干あるらしいが、しかし、この國ではハイバード、セイキリス、フラグスタフ、リク等の諸天文臺は多少の研究を續けてゐると思はれる。

本編は1938年の極大期以後、黒點の活動は漸次下降しつつあつて、昨今が極小期と思はれ、“無黒點日”も屢々現はれるけれど、去る1943年五月16日ドイツのクリウバ博士が、又、翌17日我が國の本邊、正田兩氏が高緯度に新黒點を發見したことは、早くも太陽が新活動期に入つたことを告げるものである。

彗星は、1941年中に6ヶ、1942年中に7ヶ發見されたが、1943年に入つてからは(十二月までに)6ヶが發見された。下に此等の一覽表を掲げる。

番號	(星名)	近日點通過	發見者
1941a	(新)	1941年一月20.4	フレンド(米)リリス(米)本田(日)
1941b	エンケ	1941年四月7.2	ゾンビリス(米)
1941c	(新)	1941年一月27.7	バラスケラアロス(南阿)
1941d	(新)	1941年九月3.2	ファンダント(南阿)
1941e	(新)	1941年七月24.3	デュトワ(南阿)ネウイモン(露)
1941f	(新?)	?	デルボイト(白)

此の年中に第二テンペル彗星再歸した事も發見されず。

1942a	(新)	1942年四月30.8	ホイブル(米)ベルナスコニ(伊)
1942b	(新)	1942年九月2.5	オテルマ女史(フィン)
1942c	ダリグ・シエレル	1942年五月23.4	廣瀬 日

1942d	第一シブスマン・ワヘマン	1942年二月14.4	廣瀨(日)
1942e	第一アルフ	1942年六月23.4	ベリデ(米)
1942f	ステファン	1942年十二月18.9	オテルマ女史(フィン)
1942g	(新)	1943年二月6.6	ホイブル(米)フェトケ

この外、1942年中にベライン、ラインムト、ホムス、フオプス、タイラの諸星再歸したるも発見されず。

1943a	(新)	1943年九月13.7	オテルマ女史(フィン)
1943b	(上記1942gの一部)		アレント(白)
1943c	(新)	1943年八月22.4	ダイマカ(ルマニヤ)
1943d	コマス・ソラ	1944年四月12	オテルマ女史(フィン)
1943e	ダレスト	1943年九月22	ベンビースブルク(米)
1943f	(新)	未詳	ファングント(南阿)
1943g	(新)	1944年一月20日	ベルテヤ(米)

この年中、ネワイミン、ジロイマス、ダニエルの諸星再歸の筈なり。

これ等のうち、1941f星は確認されず、眞偽不明。1942g星は6等級の光輝に上り、尚、分裂して、其の一部は1943bとして認められたものであつた。

フィンランド國のオテルマ女史は、戦亂中にも拘らず、北歐の寒地に於いて、観測と研究とを勵み、4ヶの彗星を發見したが、その中1943aは火星と木星との間に介在し、殆んど圓形軌道を畫く珍星で、かの1925 II 彗星と同様、今後殆んど毎年観測し得る星であらう。ヘリビク氏等の計算によれば、此の星の軌道要素は下の通りである。

近日點通過 T = 1942年九月13日65	毎日平均運動 $\mu = 0.01.393$
近日點引數 $\omega = 350^{\circ}.006$	離心率 $e = 0.1471$
昇交點黃經 $\Omega = 154.932$ 分點1943.0	近日點距離 $q = 3.41564$
軌道面傾斜 $i = 3.981$	長半徑 $a = 3.98423$
	回轉週期 $P = 7.95306$ 年

恒星界に於いては、1942年九月19日にツキキ氏(米)が白鳥座に9等級の一新星を發見し、この報知は直ちに諸國に傳へられて、學界の注意を惹いたが、星は其の後急に減光した。しかるに、ドイツ國ゾンネベルグ天文臺の末天宮眞板の検査により、この星は同年六月初旬以來7等級の光を放つてゐたことが判明し、結局これは1892年の取者座新星と同種の珍星であることが知れた。

ツキキ新星が視界から消えた頃、即ち1942年十一月11日我が國長崎の中原千秋氏が蠶座に一等級の新星を發見した。この星は、光輝が非常に大きかつたため、他にも多くの獨立發見者があつて、外國でも、ドーソン(南米)ジョンケイル(佛)、クラスト(濠)の諸氏は中原氏以前に之れを偶然に認めたやうであり、又、我が國でも東京の瀧山氏は8日の早曉に既に2等級として見た事實が判明したが、しかし中原氏の成功は過去數ヶ年にわたる努力の結果である點に異色がある、尙この星は世界各國に於いて盛んに観測されたが、同年末ま

では、順調に減光して、肉眼の視界外に消えた。

火星が1939年の夏期に著しく地球に接近し、其の後、1941年秋にも、1943年晩秋にも繰り返して近づいて來た。このうち1939年の時は星の赤緯が低かつたため、南半球の観測者のみ恵まれたわけであつたが、その後、星は北上して來たので、萬事好條件となり、1943~1944年の期には、日本で殆んど天頂に之を見得る状態である。戦時中とは言へ、學界に於いては何等かの收穫が期待される。

最近著の報告によれば、去1943年五月初め蠶座の牽牛星の附近にドイツのホフマイスタ氏は新星を發見した。星の極大光度は同月2日に6等半に達したが其の後は順調に減衰して、十二月初には13等級に達した。1944年は更に下降するだらう。

最近年、我が天文學界に於いて、學者の死が傳へられることが頻繁である。即ち、1943年一月初には臺灣の羅川一雄氏、同月19日には水澤の川崎俊一博士、同四月19日には東京で平山達次博士、又、九月26日には木村榮博士が逝去された、何れも學界の大損失と言はなければならない。

1941年九月21日にはアジヤ大陸から臺灣南洋へかけて皆既日蝕が見え、又、1943年二月5日には北海道に於いても皆既日蝕が起つた。何れの場合にも學界の俊優たちは諸方面に遠征観測を試みたが、1941年の時は不幸にして、至る所の天氣が半晴半曇であつたため、所期の收穫は得られなかつた。しかし、1943年の日蝕は特に釧路厚岸方面に於いて快晴に恵まれたので、ほぼ結果は良好であつたやうである。

今回の大規模な作戦に因んで、天文學が大に利用され、従つて一般社會人士の間にも天文學の重要性が再認されるに至つたことは見逃せない。又この期に、帝國海軍の水路部が其の計算課を擴張し、“天體位置表”その他の學術曆表を改編するに至つたことは、學界の進展のためにも一新時期を劃するものである。

1943年が、學聖コペルニクスの死と其の大著“天體迴轉論”の公刊とを劃する1543年から滿400年目に相當するため、盟邦ドイツ國では、既に幾年も以前から記念の計畫が準備せられたことは周知の事實であり、この大戦亂中に於いてもベルリンや、トルン、フラエンブルグ等の諸所に於いて學俗界の人士が必ずや何等かの催しを行つたことと思はれる。我が國でも、大阪その他の各地でコペルニクスの遺著の計畫が實行され、又、田上では“迴轉論”の邦譯刊行が進行中である。コペルニクの如き偉人の記念は、内外の國境を越えて、世界的の意義が深いものであることを考へねばならない。世界は今や、あらゆる意味に於いての大迴轉をなしつつある時期である。コペルニクスの内容は之を象徴するものと言ふべきではなからうか?!

— 東亞天文學會の本部が設置されてある —

田上天文臺

[皇紀二千六百年記念]

所在： 滋賀縣栗太郡上田上村（日本第一の田上隕鐵の発見された地）
交通は、東海道線“草津驛”より縣道6軒
郵便は、栗太郡瀬田局 電信は、同郡上田上局

位置： 東經 -135°59'21"（即ち 9h03m57.4），北緯 +34°58'18"，

臺長： 理學博士 山本一清
主事 山本英子
臺員 佐伯恒夫 岡本克巳
 本田 實 山本 進
客員 木邊成磨 高城武夫

主要設備：

- 口径 45 釐 カルヴァ赤道儀（カスグラン式有效焦點 18 米）
- 同 10 釐 屈折望遠鏡（上に同架）
- 同 11 釐 反射鏡（太陽紅焰用，上記に同架）
- 同 16 釐 エリソン反射鏡
- 同 15 釐 屈折赤道儀（徑 13 釐 寫眞天體儀付き）
- 同 20 釐 反射鏡（日蝕用）
- 回轉式速寫型日蝕攝影儀
- 高さ 7 米半 太陽塔（徑 2 釐 シロスタト使用）
- 口径 16 釐 カルヴァ反射式天頂望遠鏡
- 同 7 釐 ワトソン屈折望遠鏡
- 同 5 釐 子午儀（天頂儀に兼用）
- 同 5 釐 索天カメラ 2 臺
- 標準時計 3 臺
- 氣象觀測用の諸器械
- 地震計各種

經營： 黃道光觀測所（廣島縣）
共營： 桐蔭文庫
協同： 東亞天文學會

刊 行 物

田上別冊： 臺長及臺員が種々の刊行物で公表したものの別冊，第 1 號より第 10 號まで
各種（但し，品切れもあり）

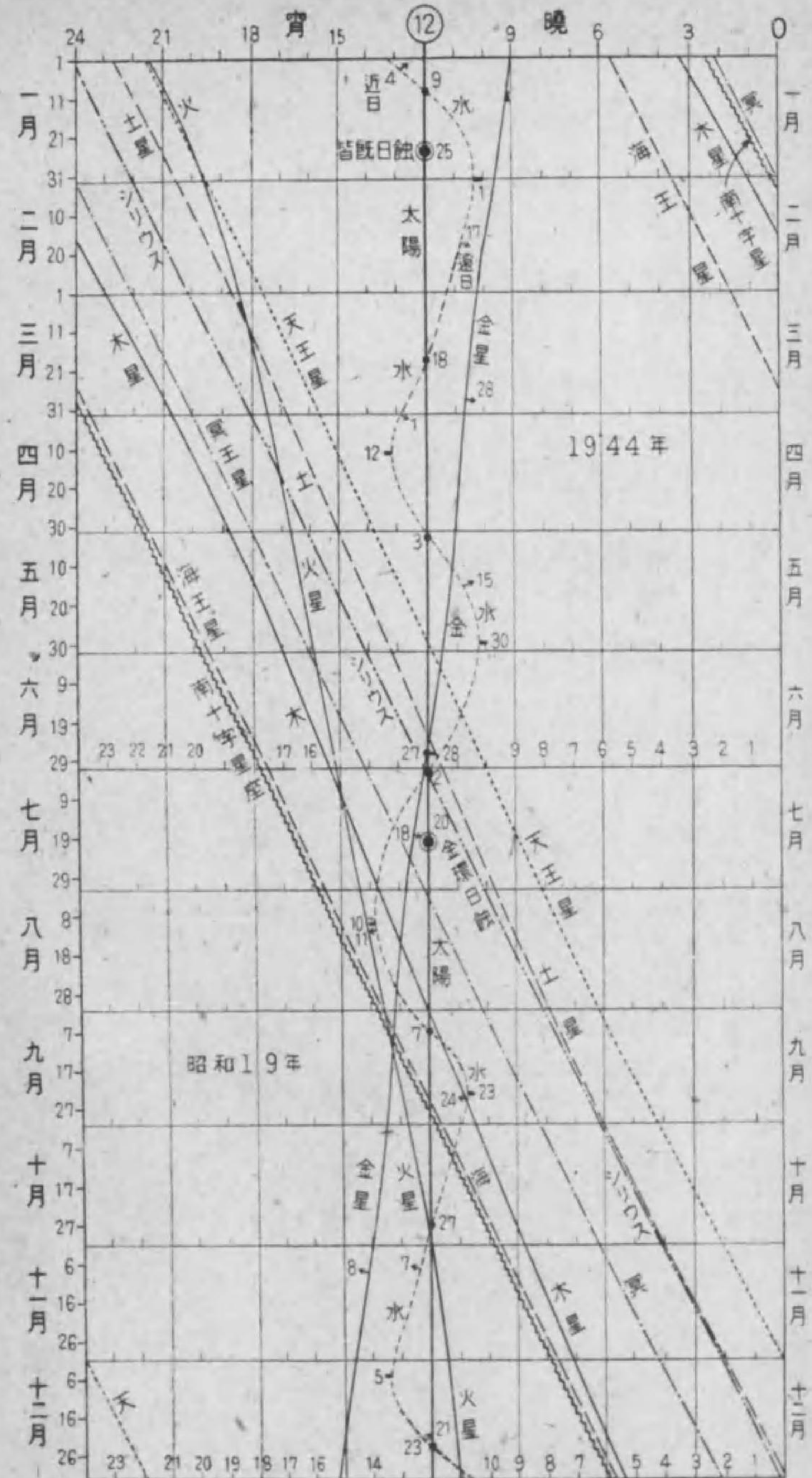
天體寫眞： 滋賀縣瀬田局区内東亞天文學會事務局より配布す

- 第 1 種（既刊 18 種）
- 第 2 種（〃 3 種）
- 第 3 種（〃 2 種）

天文エハカキ

- 第 1 輯（一組 8 枚）
- 第 2 輯
- 特種（非賣品） 以上

田上天文臺



昭和十九年三月七日 印刷
昭和十九年三月十日 發行
(三千部)

天文年表
定價一圓二十錢
特別行為稅相當額六錢
合計賣價壹圓二拾六錢

製本控 同第 號

著者、入稿	969	冊	328	號	年	月	日
書名	天文年表						
著者	()						
受入	年	月	日				
備考	申						

配給元 東京都神田區淡路町三丁目九番地
日本出版配給株式會社

日本出版委員會一〇一三九三番

昭和十九年三月七日 印刷
昭和十九年三月十日 發行

(三千部)

天文年表

定價一圓二十錢
特別行爲稅相當額六錢
合計賣價壹圓二拾六錢

版權所有



不許複製

出版會承認
V. 420336 號

編者	山本清
發行者	東京都芝區南佐久間町二ノ四 土居客郎
發行所	東京都芝區南佐久間町二ノ四 恒星社
印刷所	東京都龜町區龜町三丁目十二ノ二 東水印刷所 (東東二六)

營業所

東京都龜町區六番町六番地
振替口座東京六四七三八番

恒星社

電話九段三二一八番

東京都神田區淡路町二丁目九番地
日本出版配給株式會社

日本出版委員會一〇一三九三番

50
52

賣價(税込)¥1.26

R440.38-Ta17ウ



1200500767057

R
440.38
TA17

終